京城日報

大阪三品特電
▲十一日前場
神戶電報 五一、八〇
京阪電報 五一、八〇
釜山電報 五一、八〇
京城新報 一二四、一〇
九月限 十月限 二一、七五〇 二一、五九〇
▲十一日前場 寄付 高値 安値 引値
一一、七〇 一一、九〇 一二、〇二 一二、一〇 一二、三〇

列強大戰

▲ベ府陷落

伯林來公報に據れば獨墺軍は塞耳維の舊首府ベルグラードを占領せり（倫敦電報）

▲勃兵脫走

サロニカ上陸後報

デリー、メール在サロニカ通信員は七日報じて曰く三萬二千の聯合軍（其内英軍五千）既にサロニカに上陸し砲及び彈藥等も亦陸揚げせり又た四千の勃牙利兵は露軍に敵對して戰ふを嫌ひ脫走せり（倫敦電報）

▲ダ峽砲擊

雅典來報に曰く聯合艦隊はダーダネルス海峽兩側より獨軍砲擊を開始しガリポリ半島の戰鬪激烈を加ふ（紐育電報）

▲驅逐し擊退す

巴里來報に據れば九日夜發表の公報に曰く獨軍は今朝ルスの前面に於て佛軍の塹壕を再び攻擊せるが悉く獨軍自身の塹壕へ驅逐せられたり午後アートアの前線に於ては猛烈なる砲戰あり シヤンペーヌに於ける獨軍がタウル高地に向ひて行ひたる逆襲は擊退せられたり（紐育電報）

◎供御新穀修祓式

十一日午後三時より鎭南浦富田儀作翁受命に係る大嘗祭供御新穀修祓式を麻山里祭田に於て擧行せしが官民の參列多く天氣快晴盛儀なりき（鎭南浦特電）

◎銀行團渡鮮

京城に於て開會の全國銀行大會に臨席す可き內地銀行團一行二十餘名十一日午前九時釜山著同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

◎長春と名士

長春は昨今名士の去來頻繁なり（長春特電）

◎衆議員議員團

衆議院員團一行は十日吉林へ赴き十一日長春に歸れり（長春特電）

◎蜂須賀侯一行

蜂須賀侯爵一行十一日午前長春に來り同午後直に哈爾賓へ向け出發せり（長春特電）

◎小澤男爵一行

十日長春に著したる小澤男爵一行は十一日吉林へ向ふ（長春特電）

◎松方十五銀行頭取

松方侯令息なる十五銀行頭取松方巖氏は十一日午前九時釜山著同十時三十分發列車にて京城へ向ふ（釜山特電）

◎明石六師團長

新任第六師團長明石中將十一日午前關門通過熊本へ赴けり（門司特電）

◎中村關東都督

中村關東都督十一日午後商船嘉義丸にて大連より門司著病氣療養の爲め別府へ赴けり（門司特電）

新報

◎總督訓示

地方金融組合理事會議に於ける寺內總督の訓示左の如し

一、地方金融組合の業務は漸次發展して地方農民の金融を緩和し產業の開發に稗益せし所尠少ならずと雖も尙ほ一層の發達を期せむが爲め昨年五月地方金融組合令を發布し組合員の權利義務の範圍を明にすると共に組合業務の範圍を擴張したり之に依り將來組合の基礎は愈鞏固を加ふ可く組合員の幸福は倍增進す可きも之が運用の妙に至りては一に諸子の双肩に懸れり諸子は克く本會の趣旨を體し總督官廳の指揮命令に從ひ組合の精神を一般民衆に徹底せしめ組合業務の遂行に最善の努力を爲す可し

二、組合員は主として農業に從事するものたる可きは勿論可成中農以下の階級に屬するものより之を選ぶを必要とす、朝鮮には一定の正業を有せず親戚故舊の間に轉々寄食して毫末も向上の念無き細民亦尠からず此等をして自主獨立の民たらしめ地方民力の充實を圖るは一に組合精神の普及に俟たざる可からず、諸子は實踐躬行組合員を率ゐ其感化を地方細民に及ぼし遊惰の徒をして正業に就かしむると共に漸次組合員たらしめ以て組合設立の目的を達成す可し

三、組合員は從來朝鮮人に限りたるも地方金融組合令實施の結果一定の資格を有するときは內鮮人の別なく組合に加入することを得せしむることゝしたり、然れども內地人と朝鮮人とは自ら文化の程度生活の狀態を異にするを以て諸子は鋭意之が調和を圖り共同相助の實を完からしめ以て組合の圓滿なる發達を期するに遺憾なからしむる樣注意す可し

四、組合資金の貸付は主として組合員の生活勤勞及び用途等を調査し確實なる償還力を有するものに對して之を爲す可きものなれば組合員に關する信用調査の完璧を期すること最も肝要なりとす、苟も之を忽諸に附せむか啻に組合債權の確保を期すること能はざるのみならず、貸付の效果を空うするに至る可し、仍て諸子は信用程度表の作成に周到の注意を拂ふは勿論資金の貸付を爲したるときは其使途の監督を怠らず以て貸付の效果を收むることを努む可し

五、組合業務の運行に依り組合員の生計に餘裕を生ぜしむると共に、常時奢侈を戒め勤儉貯蓄の美風を養成し以て生產資本の蓄積を圖り、不時の災害に備へしむるは農民の經濟狀態を改善し地方產業の隆興を促がす所以にして、組合經營の本旨とする所なり、從來貯蓄の奬勵に關しては屢々諸子に示す所あり、組合員の爲に、郵便貯金或は農工銀行預金の取次を勵行せしめたるも、組合が組合員の預金に依りて資金の充實を圖り之を確實に運用するは組合本然の目的に合致するものなるが故に、今回全部の組合をして直接預金業務を取扱はしむることゝせり、仍て諸子は地方の事情に鑑み臨機適切なる貯蓄奬勵の方法を講じ、徐々本業務の發展を期す可し、然れども本業務は自ら危險の伴ふこと多きを恐るのみならず、地方の風紀に惡影響を及ぼすものなるが故に諸子は謹嚴身を持し只管人格の修養に努め其職責を全ふすることを忘る可からず

◎地方病研究所設立の議

十年間繼續研究すれば可なり

醫學博士 北里柴三郎氏談

一國の海外發展には其國民の根本思想が發展的でなければならない事勿論である併し乍ら如何に國民の思想が發展的であつたとしても發展すべき土地に對して安全な土地を選びたがるのは言迄もない殖民地の發展には素より種々の原因もあらうが其土地の衞生的安危は甚大なる原因となる誰れでも不衞生的な處に行きたがらないのは勿論だから殖民地の開發に心がける者必ず其土地の衞生的狀態を完全ならしめねばならない英獨佛殊に英獨兩國の如き必ず其殖民地に對しては領有と同時に其土地の衞生的安危を充分に調査研究し不衞生的であれば其病毒驅除に對する方法は固より豫防に對する相當の設備を講じて後移民を招致すると云ふ方法に出でてゐる英獨兩國の殖民政策今日の隆盛に就ては殖民地の衞生に對して安全が保せられたるが小ならざる原因となつてゐる事は世の認むる所である予は朝鮮に來て未だ充分に朝鮮を見る時間を有せないから茲に堂々と朝鮮を論ずる譯にも行かないが併し朝鮮の衞生設備が比較的整頓してゐる事は大に愉快に感ぜられるとは言へ予は決して之を以て完全せりとは認め得ない事を遺憾とする朝鮮の醫學的調査研究が完全した時之に對する不安が消失する譯で第一には日本からの移民の安全、第二には朝鮮人の幸福である、故に予は茲に專門的な地方病研究所設立の議を提唱したい、朝鮮にある流行病と云へば大抵調査研究せられてゐる例へば赤痢、アミーバ赤痢、チブスの如き又肺ヂストマの如きも然して是等に對しては皆充分に調査せられて相當の豫防なり治療法なり講ぜられてゐる譯だが果して盡してあるかどうか予は其調査された朝鮮の地方病は總て充分に調査研究の必要があると思ふのである其の如き專門的調査研究事業は例へば總督府の如き完識ある所へ委托的にやつて貰ふ事はよくないと思ふどうしても特に獨立した研究所を設くる必要があると思ふ朝鮮の地方病は右の如く既に大體に於て一應取調べられてる譯だからさう永久的でなくてもいゝ先づ十年間繼續すれば充分だと思ふ十年間ミッチリ調査研究して根本的に調べてしまふそして其後には其れ迄の樣な大袈裟な研究所はいらないと思ふ此種の研究所は最初が何よりも大切だ最初に誤つた形式をとれば取返しのつかぬ事となる朝鮮の地方病研究は今が一番大事な時だと思ふのである敢て見る所を述べた所以である

◎河野農相動靜

農商務大臣河野廣中氏は十一日午前八時南大門驛著汽車にて新義州より歸京構內休憩所に於て小憩の上八時五十分發列車にて水原に向ひ同地に於ける勸業模範農場を視察し午後二時南大門著歸京せり

◎荒井長官東上

大正五年度朝鮮總督府豫算は河內山司計課長東上中央政府に對し種々交涉中なるが荒井度支部長官も亦東上に決し十二日午前八時卅分南大門驛發汽車にて出發のことゝなれり同氏の歸任期は未定なるも本年は御大禮あり且引續き議會召集さる可きを以て多分本年內には歸任の運びに至らざる可しと

◎協會長張宴

東洋協會々長小松原英太郎氏は十日午後六時より山縣支部長を始め大屋、宇佐美、小宮、小松、檜垣、關屋、中村、國分の各役員並に分校講師等三十餘名を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開きたるが席上小松原會長の挨拶、山縣政務總監の謝辭あり饗應て宴を撤し更に別室に於て種々の歡談あり散會したるは午後九時過なりき

◎德富氏の金剛山行

本社監督德富猪一郎氏は十一日午前九時二十分發汽車にて金剛山探勝の爲め丹羽清次郎氏と同行元山に向へり

◎京城署隊長會議

十一日午前九時より京畿道警務部に於て京城府內の警察署長分隊長會議を開催し衞生事項其他に就き打合をなしたり

◎協贊會招待會

京城協贊會にては十二日午後四時より醫學大會に參會せる諸氏を慶會樓に招待し十四日には正十二時銀行大會の參會者全部を同じく慶會樓に招待し歡迎

◎北里博士講演

十二日午後四時より京城ホテルに於て警務總監部の趣旨に係る北里博士の講演會催さるゝに付、一般聽講を希望すとの意を表する由

◎共進會入場者

十日（日曜日 快晴）

▲晝間		一萬二千七百十六人
	內地人	七、一〇〇
	朝鮮人	三、八一七
	支那人	四五
	其他の外人	一四
	會員及無料者	一、七四〇
▲夜間		七千四百六人
	內地人	二、八一九
	朝鮮人	三、一七〇
	支那人	三五
	其他の外人	三三
	無料者	一、三四九
合計		二萬百二十二人
開場以來累計		五十一萬五千七百八十三人

◎河東碧梧桐氏來る

俳壇の泰斗にして日本及び日本人記者なる河東碧梧桐氏は鮮滿旅行の途次十日午後入京龍山井出主計監宅に入ると

◎道府郡參事諮問會

京畿道にては既報の如く十一日午前八時三十分より道廳宣化堂に於て道府郡參事諮問會を開きたるが明十二日は午前中共進會觀覽午後仁川視察を爲す筈なりと

人事消息

▲橋本啓三郎氏（佐賀市立商業學校長）外職員生徒三十三名十日入京原谷旅館へ
▲榎本四郎右衞門氏（千葉縣代議士）十日入京巴城館へ
▲横地石太郎氏（山口高等商業學校長）十日入京巴城館へ
▲島田尙一氏（鐵道院理事官）十日入京旭旅館へ
▲住田史郎氏（德島縣技師）同上
▲太谷尊由師 十日內地へ
▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦電社長）十日歸釜
▲植村俊平氏（百十銀行頭取）十一日安東方面より入京
▲岩崎男爵一行 十一日兼二浦へ向け出發
▲武田中將 十一日平壤方面へ
▲三井男爵一行 十一日仁川水族館觀覽
▲北野玄峰師 十二日午前八時三十分南大門發內地へ
▲蓮井森喜氏（安東縣警察署長）十日入京附會へ
▲古海少將（陸軍軍參謀長）平壤附近に於ける演習視察の爲め十二日午前出發
▲水谷大佐（平壤憲兵隊長）同上
▲今村武志氏（慶南財務部長）十日京城より釜山へ
▲横井時敬氏（農學博士）十日內地へ
▲金子圭介氏（前代議士）同上
▲綱島佳吉氏（牧師）市原氏歡迎の爲入京中なりし同氏は十一日午後七時五十分發歸京
▲荏戸秀治氏（中央新聞記者）十日元山へ
▲宇都宮黨氏（報知新聞記者）同上
▲山口和市氏（國民新聞記者）同上
▲鎌田秀雄氏（東京朝日新聞記者）同上
▲中村節嘉氏（太平生命保險會社長）十日平壤へ
▲蓼原三雄氏（平壤覆審法院判事）十日出發歸任
▲遠藤柾治氏（同地方法院判事）同上
▲堀勘次郎氏（晉州憲兵隊長）同上
▲齋藤禮三氏（憲兵司令部副官）同上
▲重盛信近氏 十日平壤へ
▲矢部又世氏 同上
▲龍島祐天氏 同上
▲李斗昌氏（俊盡）十日夜安東方面より歸京

觀覽團消息

▲佐賀商業學校三十四人 十日入京旅館
▲博多觀察團 十日內地へ
▲興安百人外十團體 十日共進會觀覽

南言北語

何とか手とか云つて居る內に獨墺の大軍はベルグラードに突入した▲希臘も之れを聞いた時には縮み上つたら早速主戰派の內閣を解散してグーナリスト氏が又た現はれた▲何となく此の方面の協商側の外交は失敗したらしい觀がある▲塞國が如何に力んでも首都を陷落されては困るのだらう彼亦遂に白耳義の二の舞か▲之れで氣勢を一層煽つたのは勃牙利である▲形勢斯うなつた日には最う文句はない武裝的中立と云ふ文字を消せばよいのだ▲苦しいのは希臘で羅馬尼も直に進退を決する事は出來まい段々火が足元に迄燃え廣がると存外出鱈目も其う〳〵云へぬからナア▲露西亞は男らしく思ひ切つて勃牙利と戰端を開いた▲勃軍中には露西亞黨が多く四千人は劍を捨てゝ逃走したと云ふ▲烏渡景氣はよい樣だが塞國へは早や獨墺の大軍が來て居るから心强いのだらう▲聯合軍も三萬二千位サロニカに上陸したが之れ丈けでは協商側の人氣は引立つまい▲殊にベルグラード陷落なんて露西亞では餘り體裁よく聞へまい▲ガリポリの聯合軍は夕峽兩側で總攻擊を始めたと云ふ遲かりし由良の助じや▲獨墺の大軍は一氣に土耳古を援助すべく押し寄せて來つゝあるのではないか▲必勝の要は疾風迅雷的に限る▲日本で名高い近江八景の唐崎の松が枯れかゝつた相な▲昔し一度枯れかゝつた時は餠と酒で蘇生した老松も▲今度は愈々養生相叶はずだとは惜いものじや▲其の原因は樹下を通航する汽船の煤煙の爲葉の氣孔がつまつたからだと云ふ▲孔がつまつちややり切れない▲世界には行き詰まり貫禮つまり藥づまりなどあるから危ない

◉神戶より 坂田鳴海

十一日北野丸にて神戶出帆印度洋に向ひ申候

初秋の風少し吹く竹の上

市場零聞

▲前場の商戰 寄付石貫㊀千石 賣三百石 千石賣百石買㊁百石貫 千七百石賣千百石買㊀千五百石賣百

賣新規に買物多く直に買向ひたるも先物八圓九十錢中八圓八十錢先八圓五十八錢と六錢安に寄付たるも賣物多く直に六十一錢と返し跡運節保合居りたるか引際買穿勝にて三錢と上伸し底强き散會

▲十一日後場 當限㊀八圓九十錢出

賣新規に買物多く買向ひたるも十一錢と跳れ返し一節は買進み況を呈したるも跡頭ぶる閑散を與め引際買穿勝にて六十三錢と上伸底堅き成行を示したが相變らず大阪の高値に耐へず仁川相場を發揮し居れり

[illegible]手口なきと檢米の捨て場として唯一の軟れば粗惡米の捨て場とて唯一の材料に數へ居るも見派より見れば正米端境期にて拂底の折柄向一箇月位施延に相成り居りたるより移出しは得べき者は移出し得るべく併して[illegible]

[illegible]たる故[illegible]日の問題なるも[illegible]して參考に資せんのみ

▲後場時間繰上げ

本日午後二時より大神宮例祭執行せらるゝに付き後場立會時間を[illegible]

[illegible]送るの止むなき[illegible]しより買進み相場二十錢高に[illegible]小口商內行はれ居るが果して是か相當とせつて後日商談行はれたるや疑問である

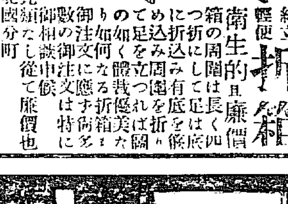
朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金二錢 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾五錢（郵券代用二割增）
廣告料 五號活字一行金六拾錢 特別定一行金壹圓 三號活字同一行 六號活字の一行は五號活字の一行に同じ
發行兼編輯人 奧田 貞次郎
印刷人 金口 政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話（編輯用 長三二一、營業用 長一六一番、廣告 長二六〇番）

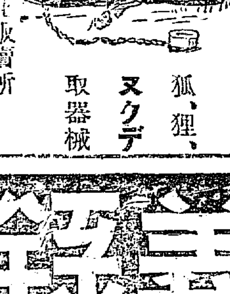
英語速成法 の發明

今後の社會に英語を知らない人は不便と損失が莫大ならん。而して從來の獨習法では到底自然的に覺えられない。新發明の新速成法は全く三四ヶ月間に英語會話を自由に使用し得るに至る。本學期中に付特に詳細なる教授をする。東京本郷 英語通信學校（電話下谷二一〇番）へハガキを出せば無料進呈する。

各種機械
完全で安價なる機械を欲せらるゝ方は左記小店を御用命を
礦山、電氣、製綿、製紙、其他諸工業機械及原動機等
右古機械賣買專業
大阪市堂島濱通一丁目 小川新造商店 電話東二八八番

新案 御大典式有職 組立 折箱
輕便 衞生的 且 廉價

箱の周圍は長く四つ折に込み有底を條につ込みて闊れば足は底めて足を立つ充分折箱で如何なる體裁にも優美なり御注文に應ずる御相談に特に多數の御注文は申候
工場設備全國に比類なし從て廉價也
大阪東區主造北國分町 日本折箱製造所 電話南三五一七番

明治足袋 三宅商會本店 長電話四三二番

米國ビクタートラップ會社製
獸類捕獲器 壹個 壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ 取器械

當木青花販賣所 仁川濱町 京日仁川代理部

早稻田大學講義錄
新學年開始
政治經濟科講義 法律科講義
學費低廉＝修了短期
ハガキにて申込次第 見本つき規則書 直ちに進呈すべし
第壹號出づ
大禮記念 メダルの贈與 其他の大特典あり詳細規則書に就て知れ
入學金全免
講義平易＝講師大家
文學科講義 早稻田中學講義 早稻田商業講義 本年春期學期を開始せり
希望者は申込次第何時にても入學せしむ
申込所 東京牛込早稻田 早稻田大學出版部 電話番町 二三四二 七四二二
總長 大隈伯 名譽學長 高田博士指導の下經營卅餘年本邦無比の講義錄 立身成功を欲する有爲の士は速に入學せよ！

大募集 支部長 幹事 月百圓確實希望員 各地採用至急照會あれ即報す
御卽位記念品頒布事業編特定頒布紹取扱迅速
東京麴町區下六番町 電話番町二五二三番 大日本國民教育會

歐洲戰爭實記
第四十號（十月五日發行 定價廿錢税二錢）
▲戰爭決勝は巴爾幹戰爭にあり ……バアカア
▲何故に獨逸は强きか
▲聯合軍（漸く蹶起す） 其他電報數項
▲財政より見る獨逸の富强 ……松崎博士
▲戰爭は今後が見もの…… 長岡中將
精密 新刻 露獨戰局新圖
▲獨逸宰相と語る…… デレツアス
▲獨軍占領せる露領の價値 荻野中將
▲戰時の巴里の光景 マクドナルド
▲民主思想を厭忌する獨帝 プリンス
▲樂觀すべき露軍の前途 タイムス通信員
（前金税共八冊一圓六十一錢） 東京本町 博文館

大共進會

朝鮮人のうけた印象

異口同音に曰く「隔世之感」　趙重應子談

這回朝鮮未曾有の盛況を博した共進會に就ては自分は實に言ひ知れぬ幾多の感想が浮ぶのであるが就中半島殖産興業の進歩發達が

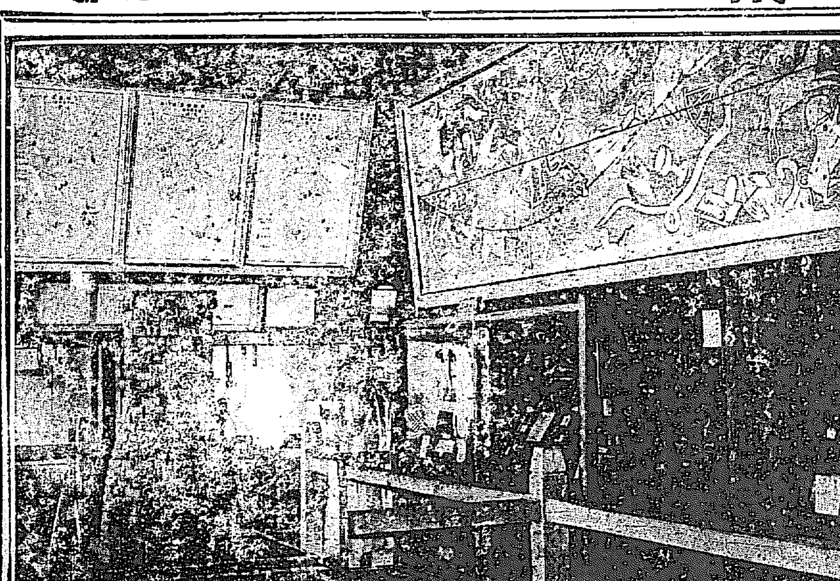
■新政の恩澤を享けて鬱然勃興した事は會場を一巡した人の誰しも感ずるところである、併しながら自分が最も深酷に感じる事は這回の大共進會と朝鮮交通機關の發達といふ一事である、共進會開會以來殆んど潮の如く京城に集つて來る多くの鮮人は何れも全鮮各地の山村僻地から遙に

■首都を訪れたお客である、中には國境白頭山下の農民もあらう南濟州島の漁夫もあらう、然も彼等は易々樂々と京城に來ることが能きたのであるがこれを谷を渡り峯を越え千辛萬苦したむかしの旅行に比すれば如何であるか實に隔世の感といふも愚かである、又從前は

■京城の名を聞くのみで一生都を知らずにゐた者も多く彼等は京城の土地そのものゝみを觀てさへ既に立派な見學を了つたものであるが是が又大共進會まで觀たのであるから共の一般民智の開發に資したることは言ふまでも無きことで這は偏に完備せる交通機關のお蔭である又這回共進會の觀覽者は

■寺内總督が平素鮮人を愛さるゝことが如何に深厚なものであるかを充分了解したやうである、例へば觀覽者の宿泊する旅館の如き從前は殆んど京城に完全な宿屋なるものは無かつたのであるが其れが這回は總督のお思召で實に周到なる注意が行き屆き鮮人一般に衷心より感謝して居る所である、現に自分の所にも

■地方の鮮人が訪ねて來て總督に一言お禮を申上げたいと頼む者が尠くない彼等は總督にお目にかゝつた積りで記念エハガキを買つて歸るやうな次第、要するに這回の大共進會は全朝鮮の物質的進歩發展にも亦鮮人精神上の悅服に就ても實に尠からざる功果があつたものと思ふ



□共進會場內の觀測室（「大海の秘密を語る」の記事參照）

此頃は藝妓が足りない

景氣立つた花柳界

湧き立つた共進會の景氣、京城市中の何れを見渡しても眼の廻るやうな忙がしさだが、その忙がしさも皆身の爲めお帳場のため、さツさと取り込め掻き込めとばかり

■夜晝なしに働いてゐるのは料理屋藝者の類だらう、京城市內の藝者は〆て百七十餘人、その內京城券番に屬するものが百人餘り殘りが中券番である、何がさて十一日の開會から引つゞいてそれ祝賀會やれ懇親會何の大會と夜繼き、日繼きの大景氣、そこへ持つて來て京城券中券四十三人づゝ若い綺麗どころ中年增の働き盛りが交る交るで演藝館へ出演とあるので碌々煙草を吸ふ間もない位だ、一體に演藝館に出る藝者には人氣が集まつて座敷の數も多いといふもの、從つて又身體が二つあつても足りない始末

■此の調子では藝者の神經衰弱が澤山に出來て罷り間違へばお客なるもの蹴飛ばされさうな勢ひだが又よくしたもので大會やら宴會やらが多いために月の內一度も名札の動いたことのない樣な不景氣なのがお役に立つて塵を被つた箱が日の目月の目に遭はふといふ譯で總體に平均して線香のメートルが上がつてゆくのは先づ芽出度い事である、九月一抔の〆上を見ると京城券番が一萬四千本中券番が一萬本近來稀らしい數であるところで

■料理屋の方を見る花月、淸華亭、千代本の嫉きその他一流の料理店は宴會に次ぐに宴會と來てゐるので抱えの內緖を出すところか多少問題になりさうな藝者は皆狩り出して宴會に詰め切り時に小料理屋から貰ひをかけても鳥渡の事では埒が明かないので踏み出したからには騎虎の勢ひ、繰り出せ〱といふので大きな樓へ乘り込んで否應なしに奪ひ去るといつた景氣なので小料理屋はそれ程でもないが屋臺骨の大きい樓は大した景氣だ、だから平素なら有り餘つてる藝者も今日では足りない勝である、兎に角一年中の不景氣は此の二箇月の間に取返して終まうといふ凄まじい勢ひだ

海軍飛行

各飛行將校橫須賀を出發す

本月十七日以後に於いて擧行さるゝ海軍航空隊の將校は十日午前八時若宮丸にて橫須賀發目的地に向へるが攻防兩軍に屬する飛行機は百馬力及び七十馬力ファルマン式各二臺づゝなり尙ほ參加將校は赤軍井上大尉、長峰、馬越、阿部、和田、三上、津田の各中尉、日置、青木の兩機關官、青軍兼子少佐、大崎大尉、飯倉、桑原、海田、別府、五島、八島の各中尉、戶田機關大尉等なりと（東京特電）

十日は中止

大田原に泊れる陸軍大飛行機隊

九日夜大田原に一泊せし三飛行機は十日朝仙臺に向け出發の筈なりしも大田原地方は風強く雨臻りたるを以て遂に中止せり又發動機に故障起りたる爲め絹村に着陸したる武田中尉の二十五號は所澤より來著せる澤田中尉以下發動機の修理を行ひ十日朝完成したるに依り七時大田原に向け出發し七時卅分無事到着せり（東京特電）

大阪の巫女殺

大阪南區日本橋東二丁目北橋庄藏四女いま（二六）は南區難波廣田神社の巫女なるが六日午前六時頃同社拜殿內に於て何者にか銳利なる短刀にて咽喉部を抉ぐられ即死し居るを同神社の雇人山上付鍬（四二）が發見所轄署に屆出で目下犯人搜査中なるがいまは密かに情夫を持ち居り死體解剖の結果姙娠四箇月と判明せり尙ほいまは數日前より社務所に寢泊りをなし居れりと（大阪支局）

七千三百圓を騙取す

刑事巡査に變裝し留守居の女房を脅喝

京城府南洞六番地金澤植方留守宅に至り同人の女房を脅喝して七千三百餘圓を取りたる

▲不敵の曲者あり　澤植は用向きの爲め他行中にて宅には女房劉姓女（三六）が長男の六歲の幼兒と共に淋しく過し居たる九月二十六日午後八時頃年頃二十三歲位なる內鮮人とも見分けのつかぬ風采をなせる男突然入り來り自分は刑事巡査なるが隣家の金丕順は如何なる人物なるやと訊ねて立去り同じく二十八日午後九時頃再度入來れるが其際は鼻下に美髯を蓄へ鳥打帽子を目深に被り灰色の洋服を著し內地人草鞋を穿て紙片に『松本秋也』と鉛筆にて書きたるものを差出し劉姓女に對し這回は取調べの筋ありて出張したるなりと

▲內鮮語交りにて之より家宅搜索をなすべしと稱し室內を搜査し押込みにありたる手提鞄を取出し之を開けよと命じたるも合鍵なかりし爲め開くること能はざる旨述べて否みたるに一喝を食はせて曰く『汝は金澤植の妻に非ずや此鞄の開閉は夫の生命に關する重大問題也』と脅迫し遂に炊事場にありたる庖丁を以て捻ぢ開け中に藏置しある現金約七千三百餘圓の一包を奪取し之は取調べの必要ありと其儘携帶して立去りたり急報に依り鍾路署にては即時現場を檢證したる上犯人の搜索に著手し各種の方面より取調べの末市內竹添町二丁目百十三番地無職張鼎燦（三二）を引致し嚴重取調の結果遂に包み切れず

▲白狀したる所に依れば同人は澤植の家情を詳知し居れるものにて昨年澤植が動産を寶挘ひて現金となし之を納藏し居るを知り酒色の爲に窮したる結果惡心を起し右の所爲を敢行したるものにて奪ひたるは七千三百十圓にして右の金は竹添町の山中に埋藏しあると旨申述べたるも全くの虛構にて同人の家宅を嚴重搜索したるに小箱の中に六千三百十圓匿しあるを發見し之を押收したる由なるが尙一千圓の所在不明にて目下引續き嚴重取調中

途方もない法螺吹き坊主

京城淸進洞十一番地無職朴仟曠（二九）は五歲より九歲迄漢學を學び九歲より十一歲迄普通學校十二歲春より十四歲迄單身忠北報恩郡俗離山に小舍掛けをなして立籠り法華經を專攻し十四歲春より十五歲秋迄慶北珈琊山に立籠りて佛學を研究したる者の由にて去る七月十二日頃京城寬勳洞三省旅館に於て咸北明川郡上需南面麻田洞の金璋淡に對し『自分は佛命を受けたる身にて或夜佛靈現はれ告げて曰く世界は三十萬年を以て一期とし十五萬年にて境となし先天數と後天數とに區分し本年は先天數の晩年にして十四萬九千九百九十九年に相當し明年は世界に大變化を來すのみならず惡疫流行し億兆の蒼生は悉く滅亡するの時機に際せり依つて之を救濟する爲め靈藥調劑の方法を授けられ諸藥十萬粒を製造し置くべし然る上は其後告ぐることあるべしと姿は消え失せたり』など途方もなき噓言を巧に弄して同人を欺罔し其の製藥費及び布敎に關する百三十卷の書册を印刷する必要あるも今所持金なきは詮方なしと稱して遂に同人より四十圓を捲上げ鍾路署の取調べを受く

鐵道局天狗連の大獵

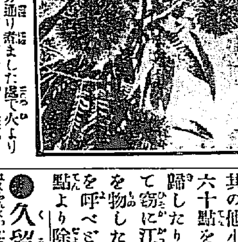
昨十日は獵期に入りて第二の日曜なりしこととて好獵家は各方面に目覺しき活動を試みたり中にも京龍在住の鐵道局員を以て組織せる鐵道獵和會は第一回大會を汶山の東二里半の地點に在る臨津江の中洲に開きたり同地は大邱府小倉氏の經營せる農場にして一切狩獵を禁じ居れるも島主小倉法學士の厚意に依り特に當日だけ獵和會の爲めに全島を開放したるものなり會するもの十五名にして何れも腕に覺えの面々午前九時勢揃をなし雉、鶉、鴨各十點小鴨、鴨五點、雁三十點と定め全島包圍の陣形にて一齊に射擊を開始したるに銃聲連續して宛然ら演習の如く和田、關口、山崎、門奈、岩淵、花田、武智の天狗連我劣らじと奮戰せしが午後三時の終了合圖と共に一同農場事務所に引揚げ記念撮影をなし獲物を島主に贈りて好意を謝し汶山驛前に於て盛なる祝宴を張り興を盡して散會せり當日の獲物は雉百三十鶉六十四雁七其の他小鴨鴨數十羽にして最高二百六十點を以て月桂冠は門奈君の手に歸したり中には拔がけの功名せんとて窃に江を渡りて下流に出で雁數羽を物したるも終了合圖を聞きて渡船を呼べども來らず終に審判の結果採點より除外せられたるなど一興なりしと

□栗の御料理

『秋きぬと目にもさやかに見えねども』の季節となつて日一日と八百屋の店に栗が段々に多くなります今日は栗の御料理を二三種紹介いたしましょう

▲栗飯　材料白米一升、栗五合、醬油一合、味淋一合、酒一合、煮出汁五合栗の鬼皮を剝き澁皮を綺麗に去りて能く水洗し大きい物は二つか三つ位に切り軟らかに茹て鍋に味淋、醬油、酒、煮出汁の半分を入れ其中に茹た栗を入れて煮て置き常の如く米を磨ぎて前の栗の煮汁を混ぜ尙少し醬油を加へて飯の焚き上げ前の通の水加減に仕立て炊き上げ飯を移す時前の煮た栗を混合はすのですまた今一法としては最初から生の栗を米に混ぜ鹽で味をつけて炊き上げてもよろしう御座います栗の量は好みによつて增減致します

▲栗の甘露煮　先づ栗の鬼皮を剝き去りまして澁皮を剝取り其れから水と共に鍋に入れて茹でるのですが茹で過ぎますと形を崩して終ひますから先づ八分通り煮ました處で火より卸し笊に上げて水氣を去り砂糖百目に對し水三合の割にて栗の量に從つて分量をなし蜜を詰めた物を甘露と申します是れにて弱火にて形をくづさぬやうに能く煮まして鍋を火より卸し其まゝ甘蜜を十分栗に吸はせ置き取出して食するので御座います



▲栗とタピオカのプデング　栗は皮も澁皮も去りてよく洗ひ沸湯に入れて茹おき別に砂糖一水一の割合にて蜜を作りたる中へ入れて甘く煮ておきますタピオカはよく水に浸しおきて後ち水にて煮ますよく軟らかになりてすき透る樣になりし時先の栗をパイ皿又は丼に入れてよりタピオカをかけてテンピで燒ますなければかずさも宜しうございます食します時に果物の汁の蜜をかけますと結構です蜜とは何にても果物の汁をしぼりて砂糖と同量にはかりて十分間位弱火にて煮立てたものであります殊に此プデングには葡萄が宜しうございます

浪花館の小南と壽館の三木助

——久し振りの落語——踊りの達者——

■小南と三木助　が三遊派に揃つて乘る浪花雀、東京落ちで押出してる、氏より育ちの兩人、踊りの達者なだけ騷々しい所、また妙に危險な事をいふ所杯、隨分よく似てる、聞けば兩人兄弟分だとか、此の二人が前後して浪花館と壽館に蓋を開けた、小南の浪花館には例のお馴染の、

歌六がスケさして加はつてゐる。

■用事があつて天勝のサロメを見殘して出た十日の晩、浪花館に入る、〆萩から鐘師餅に喚び移つた樣なもの、題は忘れたがよく囀く噺、お定りの權助を使つて女房が妾の隱れ家を探索す[illegible]しい人がよく現はれてゐた、

圓坊の腮は見る度に長くなる樣に思はれる、[illegible]に長いのが此の男の人氣あるところ、例によつて愚にも附かぬ洒落を言ひながら鼻下のメートルを上して[illegible]

■[illegible]の越後獅子は例の通り[illegible]だがテケレツのパアで二十四孝の[illegible]踊りを踊る、輕いものだ。小南も相變らずキヨトンとした顏つき[illegible]

■淸玄と玄治　[illegible]（大阪落語）

●久留島氏の湖南行　家庭博覽會場內に於てお伽講演を爲し少年少女を歡喜せしめたる久留島武彥氏は十二日夜は日の出小學校の母子會に臨み十三日朝出發湖南線方面視察の途に上るべし

市井の塵

▼金側時計　京畿道廣州郡邑內面金明春（十九）は二日夜永樂町一丁目須古醫院に忍び入り金側時計金指輪各一個（百七十五圓）を窃取し指輪は記名あるより[illegible]とて投げ捨て他は所持し同月七日夜旭町一丁目某下宿屋に這入りて下宿人松本某の所持品を窃まんとして同人に取押へられ本町署に突き出さる

▼曹達自殺　開城郡中西面土城里崔光使（三一）は五日夜自宅にて多年の[illegible]を悲觀し曹達を服して自殺したり開城憲兵分遣所より屆出に依り土城派遣所より檢視の上屍體は實父崔秋澤に引渡す同人は妻子ある身にも拘らず妾を迎へんとせる事より實父より戒されたるを悲觀し覺悟の自殺をなしたり

東京株式特電　十一日前場寄付　大引　[illegible]

東京期米特電　十一日前場寄付　[illegible]

東洋拓殖　日韓瓦斯　朝鮮銀行　朝鮮瓦斯電　[illegible]

り約六十錢方の高騰を告ぐるに至れり且つ一方內地は東米の暴風雨に細作被害妙なからず[illegible]

水原玄米　三五臥　[illegible]

前場　寄　引　[illegible]

十月限　十一月限　十二月限　[illegible]

天氣　曇り　十一月十二日　[illegible]

日出　日没　六時三十六分　[illegible]

奉祝御大典

御大典紀念景品附大聲蓄音器大割引販賣　責任

本機は帝國喇叭口徑壹尺四寸の七枚鍍ニッケル構造キング式原動機と音律正確發聲頗る大なる御大典紀念として左記大景品進呈す望の方は[illegible]申込次第荷送附にて迄る萬一不向の節は責任を以て無割引他品交換又は返金す

壹臺　金八圓五拾錢

景品（運賃荷造箱代共壹圓五拾錢）

景品　（上等品煉盤音譜即ちレコード）浪花節奈良丸吉原[illegible]　藏德利　雲右衞門　五郎正宗孝子[illegible]　京山小圓　佐倉義民傳　中川伊勢吉　幡隨院長兵衞　淨瑠璃春子太夫　三勝酒屋　呂昇先代萩　南地名妓政彌の博多節（カチウシヤ）淺草軍事錦隊、筑前琵琶常陸丸以上拾種譜針二百本外に御大典紀念兩面一枚を進呈す

[illegible]（定價表無代進呈）●近頃玩具的の蓄音器を誇大に廣告し注文者へ迷惑を與ふる不德商店あり注意あれ

大阪東區上本町五丁目停留所南入

發賣元　大阪蓄音器商會

電話南一三八　振替大阪二五〇八二

浪界の泰斗　講元

吉田奈良丸來る

於仁川歌舞伎座

十一日十二日の二日間晴雨に係らず日延なし

——二日目の讀物——

殿中刄傷

大高源吾　長講一席

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

秋口の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥には殺菌力を有する藥劑ならざる可らず

柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者なれば從來の賣藥になき殺菌、防腐の作用を具備す

殺菌力絶大なる下痢止腸胃藥

定價　二十錢　三十錢

旅行携帶用　五十錢

徳用　一圓　二圓五十錢

主治　●食傷●食過●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹　■腸胃の故障より起る■下痢■腹痛■吐瀉■[illegible]■[illegible]

効能　死疴を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す

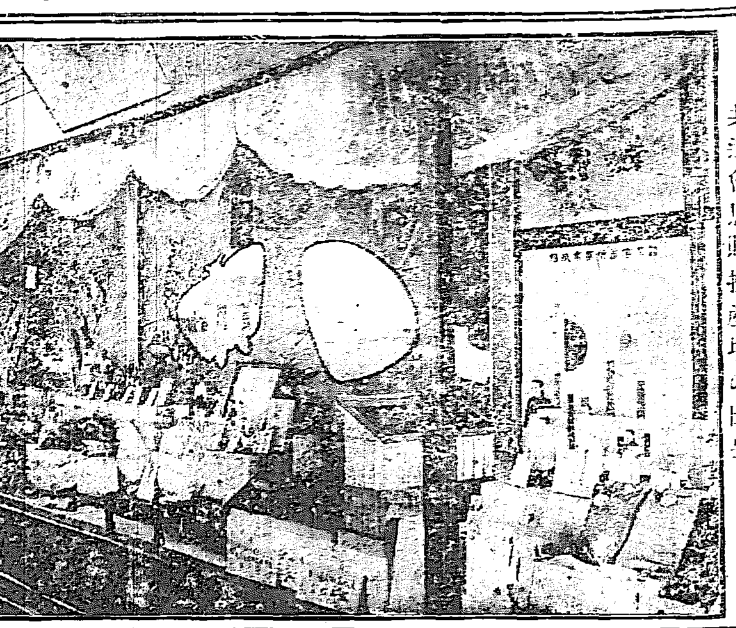
本舖　東京日本橋本銀町三　振替東京八六四番　津村敬天堂

●取次は全國到る處の藥店にあり

名産　平壤栗大販賣

右御小賣共破天荒の勉强可仕候間陸續御下命の程希上候弊店へ御來駕御照會被下候はゞ如何樣にも御滿足を與へ精々御便宜御取扱可申上候敬白

萬穀物類　果物類　問屋　平壤新倉里四十三番地　朴承德　電話一一三番



共進會恩賜授産場の出品

◉群山經濟狀況

群山朝鮮銀行出張所調

米界は大正〔?〕月も無事に經過し氣配益々軟弱の趨勢を持續し新米の如きは十一月に落込み昨冬來の新安値を現じたるが如き情勢なるを以て當地貿易界も與に閑散に米減少と共に出荷不振にして市況閑散資金の需用少し雖輸移入側は恰も鮮盆と更衣期に際したる事とて金巾を主とし必需品の賣行相當旺盛にして絹糸金巾の相場昂騰により往々品不足を告ぐるの有樣にして市況活氣を呈し資金の流轉稍々繁忙なるもの、如し九月中に於ける輸移出總額は四十五萬九千五百三十八圓にして八月中に比し十四萬九千七百七十二圓增加し輸移入總額は二十九萬四千五百二十八圓にして八月中に比し十一萬六千零三十二圓の增加を示せり今大體の移動を見るに移出米は內地相場崩落の爲め荷動き少なかりしも下旬に至り稍々景氣回復したりして當地に米穀檢査施行せられたるとにより十四萬圓の增加を示し而して移入に於ては季節物として金巾類を主とし絹織糸金物陶器磁器日用品の賣行活氣を呈し金巾類に於ては約五萬圓の增加を示し繁忙の裡に越月せり

◉河野農相視察

農商務大臣河野廣中氏は既電の如く九日午後八時十三分着列車にて渡邊地方局長岡本山林局長其他の隨員を從へて新義州驛着官民有志多數の出迎ひを受けて直ちに旅館鐵道ホテルに入り翌十日午前八時半より深川府尹齋藤營林廠長寺本署長等の案內にて新義州府廳、營林廠、關稅支署等を視察し正午より鐵道ホテルに於ける官民有志の歡迎會に臨み終つて鴨綠江鐵橋の回轉を觀たる後安東縣に渡り市內各所を巡覽して夕刻新義州に引返し同午後七時四十七分發列車にて京城に向け出發せり

◉陸地棉の好況

忠北永同沃川地方の陸地棉は年一年耕作面積を增して本年度は四百九十町歩に達し各地共不況を訴ふるに不拘當地は獨り近年稀なる豐作にて昨年度當八十斤の收穫ありしも本年は九十斤餘の收穫ある可く殊に昨年七錢五厘にて販賣せる棉價が本年は十二錢三厘見當の高値を示し居れば棉作者は稀有の豐作なりと喜び居れり

●黃海道隊署長會議　黃海道警務部に於ては過日來管內憲兵分隊長分遣所警察署長會議中の處十日終了に付夫々歸任せり

●自動車開業式　淸州芙江忠州間を運轉す可き忠北自動車は十日午後二時より淸州東公園に於て芙江淸州忠州の官民有力者四百餘名を招待して開通式を擧げ關組合長吉原副組合長の挨拶來賓總代鈴木道長官の祝辭演說あり餘興として模擬店藝妓手踊常盤團新演劇花火等あり盛會なりし

◉滿鮮境上より

安東縣特派員

▲貯金銀行新築　安東縣五番通八丁目に本店を有する安東貯金銀行は其位置北部に偏して一般市民の取引上不便を感ずること尠なからざるに依り今回日本市街目抜の場所なる市場通六丁目一番地角に敷地九十坪を買收して宏大なる煉瓦造の建築を爲すことに決し既に數日前より敷地の家屋取拂ひに着手せるが本年中に全部竣成の筈也

▲新義州戶口數　九月末現在の新義州戶口數を聞くに內地人戶數八百三十八、鮮人三百九十九、支那人二百合計千四百三十七戶、人口內地人男千四百八十三女千三百二十七計二千八百十人、鮮人男九百六十六女七百七十九、計千七百四十五、支那人男千二百〇八女百三十五計千三百四十三

▲吉田領事歸期　過日青島地方へ旅行せる安東領事吉田茂氏夫妻は同地より海路釜山に出で京城を經て來る十四日頃歸安の豫定なり

▲山口商業生徒　山口高等商業學校生徒四十名は只見教授及び吉本助教授に引率せられ八日夜半頃より來安久旅館に一泊九日午前より市內各所を視察し同日午後六時三十分再び朝鮮に向へり

▲古藤視察　安東警務署長古藤警視は小澤警務署見送りの爲九日連山關迄出張十日夕刻歸安

▲書記生の轉任　安東領事館勤務書記生秋洲郁三郎氏は今回長春在勤を命ぜられ後任として間島領事館勤務書記生蒲川清次郎氏來任の筈なり

▲小學校運動會　新義州尋常高等小學校にては十日午前十時より同校々庭に於て秋季大運動會を開催せるが父兄の參觀者多く競技數十回を演じ非常の盛會を極めて同夕刻無事閉會したり

◉連絡船上陸客　十日午前入港高麗丸一、二等乘客
一等(八名)鈴木穆、小林杢次、森林臣、大三輪長太郎、松本勝次郎、河野與雄、同たみ、八千代、同とく子、北島房太郎、野上茂穗、[illegible]、中島昌一郎、同たみ、吉川博、町野きく子、島谷八十八、高田[illegible]、同ひさ、安部清逸、山本一郎、仲辺つい、同政道、同はな、河村文次郎、同幹彥、[illegible]子、福田一
二等(三十名)黑田泰次、宇野規矩次、同一子、同堀、[illegible]
三等(百九十六名)
十日午後八時入港弘濟丸一、二等乘客
一等(六名)大都德太郎、山邑太左衛門、同太三郎、宮尾愛治、外八五名
二等(十二名)橋田次右衛門、藤瀬監、豊川都志、福崎喜四郎、松浦あき、福田安有、[illegible]、徳田清太郎、小松晶吉、[illegible]、中和順、王禅詠、大塚與次郎
三等(四十七名)

◉滿洲の馬賊と海賊

被害及取締便法

每年八九月頃は俗に之を馬賊季節又は海賊季節と稱し滿洲內地及び其の近海において當に支那人のみならず日本人も亦その害を受くること頻繁なるが本年は別して其の遭難事件多く邦人の居住、旅行、營業の自由となりたる滿洲も其の奧地は馬賊の危害ある爲め實際は自由に旅行又は居住する能はざる狀態なり

▲其の遭難事件につき少しく最近の例を擧げんか八月初旬內蒙古に屬する勾家窩舖棚にて鄭家屯商家店舖の遞傳兵若干が馬賊に襲はれ兵十一二名死し一名重傷せるを重なるものとし同月十六日には二百名の馬賊長白府に現はれ火を街衢に放ちて採木公司分局を襲ひ局員近藤直吉乙森豐次の二名を山中に拉し去り朝鮮守備隊窪兵之を追擊して漸く其の二名を奪還せるが如きは被害の大なるものなり其他九月十七日八面城居住賣藥商山下茂吉の殺害せられたるも其の前後に西豐縣下にて藥種商柿本道人の慘殺せられたるも皆馬賊若くは不逞支那人の所爲にして此以前の小なる被害事件は殆んど枚擧に遑あらず支那良民の被害に至りては一々報ずる事の煩に堪へざる程なり以上は馬賊の被害なるが海賊の害も亦決して少なからず最近にをいて

▲漁船正德丸が關島列島の大欽島と小欽島との間に差掛りしとき支那蠻夫選船の爲に砲擊せられ漁夫一名重傷を負うて死亡したるは勿論海賊の害にあらざるも支那汽船中往々海賊に等しき行爲を爲すものあり且此の事件を動機として大欽島に海賊の一團割據せるを發見し支那警察選船の依賴により我が水雷艇隊が該海賊の討伐に向ひ不幸之が爲に大岩根兵曹を失ひたるが如き近來の大事件と認むべきものなるが元來此の近海には海賊常に出沒し日支漁船又は汽船の其難に遭ふもの是亦た枚擧に遑あらず航海の安全、殆ど望み難き有樣なり事の斯くの如きは畢竟

▲支那警察無力の爲に外ならず當に犯罪を未前に防遏し能はざるのみならず事變後もその犯人の檢擧搜索頗る緩漫を極め支那軍警の手にて下手人を逮捕したるもの幾何もあらず或場合には却つて犯罪人を曲庇し被害者の取られ損となることも珍らしからず滿蒙における警察の改善及び充實は支那政府屢々之を聲明せるも未だ實績の見るべきものなく外國人の生命財產を充分に保護し得るは何時の事やら殆ど期待し難き次第なれば何等かの便法を講じて此の缺陷を我が警察に依て補ふの必要あり

▲海賊の取締に就いては都督府の水上警察あるも大連港附近領海の警備に當る實力を有するに過ぎずして租借地島嶼附近及び公海に出沒する海賊船に對しては何等取締の方法を講じ難く而かも無力なる支那の警選船に托して足れりとすべきに非ざるを以て都督府にても今回旅順要港部と協議の上機宜の手段を用ふべく目下計畫中なり馬賊の害に對しても守備隊と協議し追つて便法を講ぜらるべきか(大連特電)

演藝案內

壽町 電話一〇五〇 壽館　東京落語歌舞音曲々藝狂言三木助一行 十月五日より晴雨に不拘[illegible]

黃金町 電話一四三四 世界館　當る十月十五日より ▲松旭齋天洋師出演 ▲世界的大魔術 ▲共進會特別興行 ▼毎日午後七時開場 土曜、日曜は正午開演

壽町 電話五七八 壽座　大阪若手俳優市川眼笑市川新昇一座 十月十二日初日 前狂言 三國湊三人新兵衛 上 中狂言 三勝手七酒屋の段 中 下 切狂言 [illegible]

黃金町四丁目 電話二六三七 黃金館

龍山停車場前 電話(龍山)四〇番 龍光館　十月十一日よりの三大寫眞 [illegible]

櫻井町 電話八七一番 大正館　當る十月七日より新寫眞提供 [illegible]

明治町 電話二六〇番 浪花館　特別大興行 東京落語大一座 桂小南一行來る [illegible]

本町 電話二六六 新築落成 有樂館　當る八日より活動寫眞興行 [illegible]

御成町 電話二九一 御成座　第三十回替狂言 (一)新劇『百合の花』 (二)『二階笠』[illegible]

國民修養の大典範

第十二版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **生活と處世** 郵税二錢
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、當生に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。

第五版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **處世小訓** 郵税二錢
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力說したる處世實學の良書也。

第十三版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **家庭小訓** 郵税二錢
子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化が國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **文學漫筆** 郵税二錢
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は教育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に觸るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版 □德富蘇峰著 定價金二十錢□ **文學斷片** 郵税四錢
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり、斷片と稱すれども、每編悉く是れ精金美玉たり。

第六版 □德富蘇峰著 定價金十五錢□ **漫興雜記** 郵税二錢
昔は詩人臨うて曰く『詩多漫興無佳句』と然れども人の肺腑に徹する天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の威觸とを瑰麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

大賣捌所 ▲郵送料本社負擔▼ 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話六六〇番

●詳細は御申越次第規定御送附可仕候
勸業債券 貯蓄債券 賣買 月賦賣買をも致します
●六十三回 濟崩 割增金二千圓十二本以下多數割付[illegible]
株式會社 勸業債券月報社大阪支店 大阪市東區北濱難波橋南詰 振替貯金大阪二六二〇〇番 電話本局一二六〇番
本店 東京 日本勸業銀行構內

去る七日發行附錄二の面掲載聯合廣告中勸業債券年報社大阪支店とありしは報社大阪支店の誤植に付訂正す

旅館 元山 愛媛館 電話二三三

入院隨意
泌尿生殖器科 皮膚花柳科 外科
京城永樂町二丁目(金光教會隣) 安部醫院 電話四一九番
診察時間 午後九時迄 院主 安部修三

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話[illegible] 振替貯金口座京城一〇三

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依頼に應ず(每日五名を限り無料施療す)

無双醇良清酒
衛生無害 品質無双

首藤合名會社吟造
精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油㊄龜甲萬 各種 シトロンサイダー 三矢布引 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町(電話一一七一番)

小兒科專門 內科 若槻醫院
京城旭町三丁目(元十全病院跡) 電話二四六二番
ドクトルメヂチーネ 若槻寬隆

債券現物特電(十一日前場) [illegible]
南大門の廻米 十日分 平澤白米[illegible] 大邱糯[illegible] 水原小豆[illegible]
生魚市場 [illegible]
仁川米豆取引所 十一日の十二月限 平均値段 [illegible]
京城溫度 [illegible]

越後大評定

第十席　早川貞水口演

勇婦愛女

やがて婦人は後鉢巻をすると、肌衣を著て、割股引を著け、腹を巻いて、スポッと荒川へ飛込むと、抜手を切つてスーツ〳〵と河上へ泳ぐ、一同の百姓『ソレ御嬢様がござつた、避け〳〵ッ』ざぶ〳〵皆河から上り、蛇籠に腰を掛けるもあれば、砂利場へ胡座をかくもある　甲『えらい達者な女だ已達の續く所でねえ』乙『イヤどうも彼の位よく泳ぎなさる御嬢様はねえ、男でも彼處は骨が折れる所だ、彼の瀬に向つて御嬢様乗切つて往つしやる所はえれえ』丙『彼處は己なんて打流されるどうしてたか〳〵』〳〵後から往つてはいかねぞ』大きな聲で云つたつて届くもので御坐いませぬ、其の間に勘八一生懸命、泳ぎ著いたかと思ふと、突如右手を伸し、其泳ぎ居る婦人の足をつかまへようとする、アッと云つて一同心配して居ると、婦人はパッと右の足を揚げ、勘八の額の邊を蹴付けましたから、アッと云ふとガバ〳〵ッと水を飲んで、スーツと流される『ア、美事な早技、ア、どうも是は頭る者の働きぢや……コレッ　○『ハッ』家『彼の者が蹴られて流され水を何のやうに飲まうと、捫然とは思はぬぞ　○『ウヘーッ』平時にない源君の御

能く泳ぐ者でねえと出來ねえ……どうだ、此中で御嬢様に續く者はねえか……ヤイ勘八、汝は日頃達者なことを自慢にしてるが、彼の御嬢さんに泳ぎ尾いて行けるか　勘『出來ねえで何うする　丙『出來るか　勘『其代り已が御嬢様の後へ尾いて、泳ぎ著いたら、汝は何物か馳走るか　丙『そりや當り前だ、酒を三升買はう　勘『酒三升と事が極つたら已とび込む、乾度御嬢様の後から行つて、足ぐれえ引張つてくれる　丙『やつてくれ　勘『宜うし　丁『イヤ勘八、しつかり頼む酒三升だ　勘『宜し合點だッ』ドブーン、此奴もなか〳〵達者『已なんて河童に五六軒親類がある』と、戯言を吐きながら泳ぎ行く、源君御物見から御覧あそばし『コレ見よ、あれなる婦人の後を、怪しい奴が追掛ける不埒な奴だ、止めろ……』コリヤせ、大變あの婦人の方に肩を入れて御坐ると、一同思つて居る、其間に十分の水練を致して、婦人は以前の所へ泳ぎ揚がり、水を切り、身軀を拭ひ、整然と支度いたし、以前の如く陣笠を冠り、ヒラリ馬に跨り、『ト、トウ〳〵〳〵〳〵〳〵トウと乗戻す、馬術と云ひ、水練と云ひ頗る手際　家『コリヤ、彼は何れの娘なるか、存じ居るか　○『恐れながら未だ御主君は御存知あらせられぬか、御旗本西郷左衛門佐清員の娘、お愛と申します、彼女は劍術、薙刀、馬術、水練、柔術に至るまで心得たる者でムいまして、勇婦の聞え高き者でムいます　家『フゥーム、清員の娘なるか　○『御意にムいます』家『左様であるか、ア、天晴なる所の勇婦が予の家來の中に在りしか、孰れの者かと心得た、最早立歸る』と仰られ、夕刻御歸還と云ふことになりました、其翌日と成るを西郷左衛門佐清員を召され　家『其方娘愛は何歳に相成る』突然の御問　左『是は急の御召し、何事かと存じ参上仕りました所、娘の愛を御尋ね、エー當年十八歳に相成ります　家『左様か、何れかへ縁談の口等がありしか　左『恐れながら未だ其邊の所は、聊か話しも是なく、家『ア左様か、然らば彼女を奉公に出せ　左『ハ、ハッ、心得まして御坐ります、是で濱松の御城に御奉公に上りました、サア、どうも勇婦の聞えがあり、其時は未だ築山御捕縛の前の事であり、且は前の萬の事が御氣に掛つて御居で遊ばすから、彼は何れへか部屋を遣はせとあつた、そこで三の御[illegible]の長局で、其當時何人も住居人のない夜な夜な怪しの物の出ると云ふ長局へ御部屋を下さる。

入院隨意　胃腸病院　京城南大門通三丁目（鈴木商店横入る）　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

金銀牌受領　髪を黒く長くつやを出しさらさらとして髪のぬけるを防ぐ妙藥

本舗大阪三宅堂

十月十三日　九星
舊九月五日　丁丑
本命二黒　坤　不　先勝

▲二黒●理想はづれの事有り東方は吉　▲三碧●無思苦思する事有り新事手控　▲四緑●事は吉何事も防がるべし　▲五黄●心の日新事手控　▲六白●なんぎな生ぜんとす新事手控　▲七赤●[illegible]　▲八白●[illegible]　▲九紫●[illegible]　▲一白●[illegible]

□御大典記念品頒布　御大禮期日の切迫するに從ひ各地に於て種々の記念事業が計畫せられつゝあるが數年前より忠君愛國思想の喚起と國民の覺醒に努め居る東京麹町下六番町大日本國民教育會に於ては一般國民に千載一遇の御大典を記念せしめんとて實費にて汎く頒布し居れる御影像に記念品は最も壯嚴精緻にして體裁頗る優美なるを以て最好記念品なりとの評を博し各地よりの申込著しく多數なりと云ふ

大割引　自動車　新羅一千年の舊都（朝鮮の奈良）慶州に遊べ　京釜線大邱驛より快走タッタ二時間半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

●早稻田大學講義錄の好況　早稻田大學政治經濟科、法律科、文學科四種の講義錄は御即位大禮記念メダル其他十大特典を提供しそれ〴〵好評[illegible]北第二號は十月上旬に發行せり本年は[illegible]の特典ある爲なるか又は別に原因あるにや現在の昨年に比し殆ど二倍の入學者あり既に月末の調査にて約三萬の多數に達せる程の盛況にてメダルは本月中旬より入學申込順にて送すべしと又各科講義錄の内容には大改善を加へ殊に各科とも學風需賞、大隈伯の訓話等[illegible]にも有益なる記事を満載し、中學科には[illegible]の外英國なる彩色畫習字手本あり英語講[illegible]の如き理想的講學通信ともいふべき特長ありと

大阪株式特電

東京新株	[illegible]	
同上新株	[illegible]	
大阪商船	八三、八〇	
日本郵船	一〇二、三〇	
大阪米穀	一三五、九〇	
東京新株	[illegible]	
十一月限	一一九、一〇	一一九、三〇
十二月限	一二〇、二〇	一一九、八〇
一月限	一二〇、四〇	一二〇、六〇
二月限	一二一、二〇	一二一、七〇

大阪期米特電（十一日）　▲前場　當限寄付十二圓三錢▲中限寄付十二圓[illegible]十九錢▲先限寄付十二圓四十七錢

仁川期米　▲十一日前場　大阪前寄十二[illegible]

▲前場底堅し

▲底堅き裏面

仁川現物市場

賣專　大阪堂屋　同心齋橋　高麗橋大堂藥局　高[illegible]盛大堂分店

徳用　あかぢ毛染　赤毛染　用

安全コクオーで……染た毛は永く褪けません　故に二回目からは生際だけを染ればよろしい　ホントニ徳用な白髪染です

安全コクオーは……從來のしらが染の如くまけたり、かぶれたりする氣遣は少しもありません　ホントニ安心して染られます

無害　あかぢ毛染　赤毛染

内務省衛生試驗所　東京市衛生試驗所　大阪市衛生試驗所　農商務省工業試驗所　試驗濟　觀聽免許

御園白粉

美しき装ひを作るには、それだけの用意は勿論の事、殊に秋の風の肌を荒らす折柄、一入朝夕の化粧に心掛けて、洗面後と入浴後とには、欠かさずに化粧水御園四季の花を用ひ、肌を柔軟に色艶を麗はしく、又白粉下には御園クレームを専用して、肌理を整へ白粉の伸びよく長く美しさを保つやう、此化粧を繰返して怠る事なければ、御園白粉は濃化粧薄化粧ともに、地肌を透して生彩を現はし、眞の色白に見ゆる化粧振を、御園淡紅色白粉のぼかしに、一層の鮮さを増して、仕上げ用には御園の花粉白粉に、更に一段の輝きを添へ、御園香精の一滴に上品なる香りを止め玉へ。

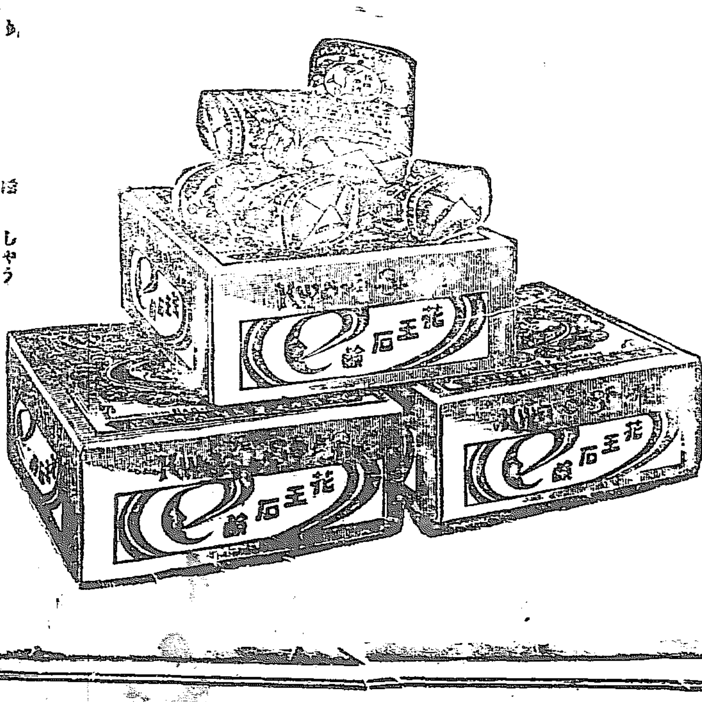
御園化粧品製造本舗　伊東胡蝶園
御園化粧品發賣元　丸見屋商店

(28)

お使ひになるなら　確乎した保證を有する石鹸をお使ひなさい!!

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院、傳染病研究所等の嚴密なる實驗に依て不絶採用せらる

品質本位の花王石鹸は幾多の石鹸中最も安心して使へる石鹸で



花王石鹸發賣元　香水東京代理店　東京馬喰町　長瀬商會
入總本日本水香油花王石鹸關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

京城日報

年中無休刊 (第二千九百九號)

桂公と帝國主義

—東洋協會講演會講演腹稿— 徳富猪一郎

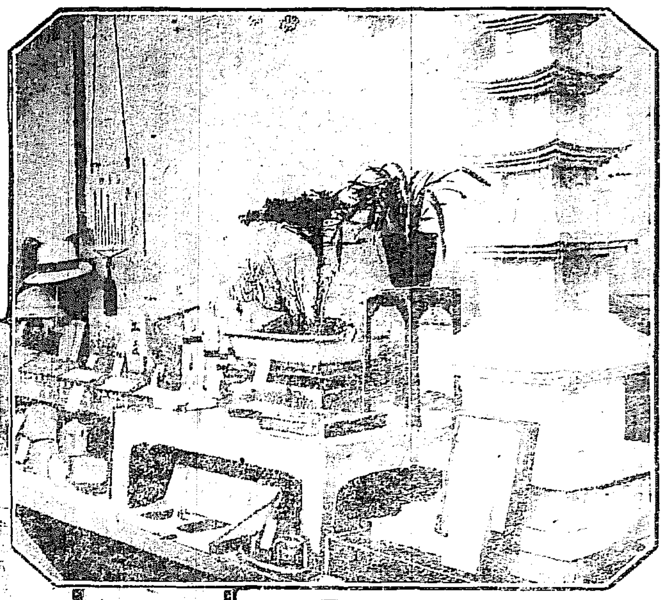
一、日本と帝國主義

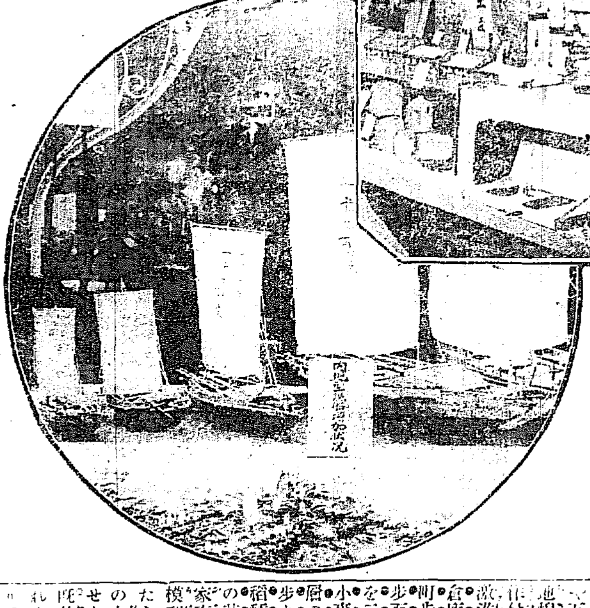
明日は――大正四年十月十日――桂公の三週年祭日である。其の前日に於て、桂公が曾て會頭として其の成立發展に力を假された東洋協會の講演會に於て、十數年公の知遇を辱くしたる余が演説を爲るといふことは、寔に不思議の因縁と言はねばならぬ。そこで余は、桂公と帝國主義といふ演題を選んだのである。それは帝國主義は、桂公の一生の大本領にして、東洋協會存立の理由も亦此の主義を擴充するの目的に他ならぬからである。

抑、帝國主義は新らしき名目であるが、事實は最も古き事實である。即ち、古事記にもある、日本書紀にもある、祝詞にもある。神武天皇が都を橿原に奠め給うた時の、勅にも六合を兼ね八紘を家とするといふ言葉がある。祈年祭の宣詞にも、狹國は廣く、峻國は平けく、又遠國は八十綱かけて引き寄する如くといふ言葉もある。是等は皆、我が帝國の開基以來の建國の意義を説明したものである。帝國主義が維新以來外國より輸入されたるものであると思ふが如きは、實に帝國の歷史を無視する亂暴なる愚論と言はねばならぬ。近くば維新大改革の如きも、畢竟此の帝國主義を實行するが爲めに行はれたるものである。帝國の政權が朝廷と將軍との間に分割せられ、又三百諸侯に細分せられ、國勢の統一を見ることが出來ぬ場合に於ては到底對外政策は行はれぬものである。そこで茲に、皇室を中心とし、日本上下の心を一にし、世界に向て大に經綸を行はんが爲に、維新の改革は出で來つたものである。されば、其の改革の先登者、吉田松陰、橋本左内の如きは、恰も我々が今日言ふ可きところのことを當時に於て言うて居るのである。滿蒙經略論の如きは、安政元年、吉田松陰が説いて居る。又、南洋發展の如きも同樣である。日露同盟論に至つては、既に安政四年に橋本左内が説いて居る。何れも、約六十年前に彼等は、今日我等が唱ふるところの議論を唱へて居るのである。是を見ても、帝國主義が、左程珍しきもので無いことがわかる。

ところが、明治六年の征韓論の破裂からして、日本の政界には自から二個の潮流が生じたのである。西郷南洲を中心としたる征韓派は、先づ大陸に向つて力を延べ、自ら内部の改革も剙成す可しといふ議論である。之に反して岩倉、大久保、木戸を中心とする内治派は、先づ脚下から踏み固め、然る後外に及ばねばならぬといふ論である。今から考へて見れば、何れも一理ある論で有つたが、此の意見の衝突の結果、遂に十年の役を惹起したといふことは、必ずしも其の原因が悉く皆、是れに由來すると云ふわけでも無からうが、實は笑止千萬の次第である。斯く、内治、外展の二派に分れたといふも、畢竟は手段の相違であつて、目的は一である。例へば、木戸の如きは、維新の初め、既に征韓の已む可らざるを唱へて居る。内治派の中心中の中心人物とも言はるゝ大久保でも、征韓論破裂の翌年の臺灣征討には、已むを得ざることゝして同意をして居る。但だ彼等は外國に赴き、外國文明の餘りに燦爛たるを驚嘆し、先づ國力を内に蓄へた後に、外に向つて發展するといふ考へを生じたのであらう。しかし、西郷などの意見も決して無闇なものではなかつた。それは、いつも内治々々と言つて居ても、外に向つて手を延ばさん限りは、恰かも鹽水が孑々を生ずる如く、人心は小成に安じ、結合は腐敗し、到底内治の整理の目的を達することは出來ぬのである。夫れよりも寧ろ、外に向つて活動する時に於ては、恰も、山より落つる谷川の常に清きが如く、人心も自ら内に振興し、社會も期せずして健全となるといふ論である。

[illegible]





朝鮮開發の五年

六 産業發達の實績(一)

産業政策(上)

新政施行以來正に五年、半島統治の基礎確立し諸般の施設各々其の緒に就き、開發の進緒の如何に顯著なるかは朝鮮物産共進會を見る者の皆首肯する所たり、未だ朝鮮を知らずして多寡を括り居たる内地人が初めて此地に來り、見聞する事物の豫想外なるに驚嘆するもの比々として然るのみならず、現在朝鮮に在る者すらも尚ほ半生知る處以上に實績の大なるを知了せるが如し、茲に本記事の骨子とすべき朝鮮産業發達の實蹟に入るに先だち新政施行の當初に於て産業政策が如何なる方針の下に定められたるかを概説し以て今日の成績の因て來る源泉を窮めんとす。

明治四十三年十月寺内總督が總督府の開始に付各道長官に對し訓示せる所は以て産業政策の一般方針と見るべく、此れを發端として開發のページは開かれたる也。總督は朝鮮開發の根本方針として一般人民に對し其の産を治め其の職を得せしむるが爲めには、先づ人民の生活上に必要なる施措を圖り、次で産業の發達諸般の施設に及ぼすべく、如此人民をして各其職に安んぜしむるを第一の目的とするが故に其の施設は徒に理論に偏し高尚に失することなく、其の道を得せしめ漸を逐うて進むを以て著實なる方針なりとせり。さればこそ先帝陛下より地方人民授産の目的を以て下賜せられし一千七百萬圓の臨時恩賜金を分配するに當つても該資金は永久之を保存し、且つ其の利子を以て産業開發の資に充つる事とし、其の所謂産業とは從來地方に存在する簡易なる業を意味するものにして製紙業の如きを主とせり。凡そ生産の事たる天然と人力との關係を無視する能はざるものなるが故に苟くも地方産業の開發と云ふが如き大業には右の三者の關係を充分に研究し、適所に適業を振興することを第一義とすべく、務めて著實[illegible]

大共進會出品概觀(七)

審勢館(變南)(完)

[illegible]

□共進會餘興 演藝館 天勝嬢出演□

東京を始め各地で大好評大評判の

世界的大奇術師 天勝嬢の

魔術應用のサロメは

奇!怪!妖!艶!!

眞に宇宙の大不思議

外一座皆封切大奇術

殊に

鳩と……………

煙草代用

森永ミルクキャラメル

松旭齋 天勝嬢大奇術の内に現れたり

變幻極まりなき神技は滿場を唸らせ

森永ミルクキャラメルの聲と共に

肉鮮の嗜好界を震駭しつゝあり

いろ〳〵のニセモノに御注意の上

此の商標ある森永ミルクキャラメルの御愛用を乞ふ

東京 大阪 森永製菓株式會社

毎日午後六時開場 七時開演

番組

一、小奇術……………初子、文子

二、小奇術……………天勝、光

三、小奇術……………百合子

四、魔術應用……………餘興 サロメ 一幕

(以下天勝)

鳩とキャラメル

鍋の中の花

皇國の中の花

封切魔術

萌中の美人

グローイングドール

五、絶妙なる曲藝……………一光

六、ヴァイオリン獨奏……………土井

流行ダンス……………モルガン

七、滑稽奇術……………天右

種明かし雲雀の表情……………一光

八、二重トランク 不思議の扉……………天勝

美人 開

北京不安 帝政問題と謠言

國體變更問題發生以來北京は各方面とも頻に不安の念に襲はれつゝあり段祺瑞、湯化龍、梁啓超等大官の辭職、清皇室及び副總統黎元洪氏の轉居、徐國務卿の病氣請暇等は獨り政治界の不安たるに止まらず經濟界にも少からざる影響を及ぼせり尙ほ救國儲金の反抗抵制の自然中止も金融鎖沈の一因なれど影響は反つて小ならず段前陸軍總長の動靜に就ても謠言頻りにし又段は西山の莊より北京宮城に入りたりとの說あり而して一般人民は國民代表大會の開かるゝ前第一革命後袁氏の總統就任當時に見たる如き軍隊の變亂あらん事を最も憂慮しつゝあり(北京特電)

『民意大皇帝』

國體を君主立憲國に改めたる後支那の國號は『大中華』に年號は『武安』に改む可しとの說傳へられつゝありしも當局の語る所に據れば國號は『大華國』元首は『民意大皇帝』と稱す可し年號は『安』若くは『貞』の中一字を取る可く目下研究中なりと(北京特電)

東部へ塞軍退却

伯林公報に曰く、ベルグラードの西南及び東方の高地は獨墺軍の手に歸し塞軍は東部方面に退却しつゝあり(紐育電報)

病院に御下賜

皇后陛下には熊本癩病院經營の趣聞召され右補助として同院長英國人リデル孃に對し十一日附二千圓を御下賜の御沙汰ありたり(東京特電)

文武官敍位

十一日宮中南溜間に於て敍位式を行ひ久我宗秩寮總裁より文武官華族二百五十二名に敍位の御沙汰を傳達したり中重なるもの如左(東京特電)

樞密顧問官從二位勳一等 子爵 黑田淸綱
從二位勳一等 子爵 山尾庸三
敍正二位(各通)

議場整理方法

參政官會議に於て兩議院議場整理方法に付き決定したる條項を非公式に島田議長に移牒したるが其要項左の如し(東京特電)

▲討論に關する件
一、重要事項討議の事實は各派に於て豫め協定し置くこと
一、建議案の議事を愼重にすること
一、討論中議事進行に就ての發議を濫りにせざること
▲質問に關する件
一、質問は委員會本會議とも重複を避くること
一、議案に直接關係なきものは豫め其要項を政府に通報すること

中村都督談

中村關東都督は十一日午後四時嘉義丸にて門司著別府に赴きたり氏は語りて曰く支那帝政問題は同國にて共和政黨不適當は國民すべて自覺し居る際なれば實現さるべし巡警巡按南滿統一は奉天黑龍二箇省好成績に依り這回吉林に行ふ筈なりと尙奉天の日本語學校は別に他の妨害に逢ひたるにあらざるも經費の都合上中止し支那學校の一科に邦語を課すことゝせり云々(門司特電)

後藤男大連著

後藤男中村是公氏一行十一日午前七時臭水子驛にて乘替へ旅順に赴き白仁民政長官主催の大和ホテルに於ける午餐會に臨み午後五時三十分發大連に向ひ七時半大連に著す驛には官民多數の出迎あり一行は直ちに埠頭を視察し大和ホテルに入る午後七時中村總裁主催の晩餐會あり主客大に歡談す大連の發達をば男も大に賞せり(大連特電)

岩崎男西鮮視察

岩崎久彌男武田海軍機關中將の一行は十一日午後三時鎭南浦著三菱社宅に少憩の後製鐵所豫定地の踏查及び工事に關する說明を聽き一泊して十二日更に兼二浦を視察し午後二時鎭南浦に向ひ同地に一泊久原精煉所其他を觀たる上十三日午後平壤に入るべし(兼二浦特電)

關西視察團著元

關西實業團百三十名は十一日午後四時十五分來著午後八時より協贊會招待に係る茶話會に臨みたり(元山特電)

德富氏長箭に向ふ

德富監督一行は十一日午後四時四十五分著大東館にて休憩の後同夜發成鏡丸にて長箭に向ひたり(元山特電)

(東京發別電)

塞國首府陷落

獨墺の大軍は遂に塞國首府ベルグラードを占領したり聯合軍三萬更にサロニカに上陸せり

山縣公入京

山縣老公は十一日小田原より入京す

大島次官歸京

大島陸軍次官は十日夜無事歸京したり

首相奈良に赴く

大隈首相の京都に於ける大禮の下稽古は無事に濟し十日夜奈良に向ひたり

鐵道院の鮮滿視察團

鐵道院の主催する鮮滿視察團二百名は十三日東京を出發す

滿蒙移住有望

最近滿蒙を視察して歸京したる横井農學博士は日本人の滿蒙に農業を以て移住するの見込みありと說けり

功勞者調査

御大禮に際し御位勳章を授けらるべき者其他の表彰に就き目下各方面に亘り功勞者の調査中なり

雜報

河野農相張宴

入京中なる河野農商務大臣は十二日午後六時半より寺內總督、山縣政務總監各部長官並に所屬官署長官銀行會社重役等百數十名を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開催の筈なるが、因に農相の退京は十三日午前八時三十分南大門驛發と決定したり

支那顯官來鮮

左記諸氏は共進會觀覽の爲め夫々出發す可き旨其筋に通知ありたり

▲北京 農商部次長北京特派員金邦平、[illegible]
▲奉天 第二十七師長陸軍中將張作霖、將軍行署顧問官于沖漢、東邊道尹[illegible]
計七名は十二日北京出發す可くまた
計十四名にして一行は十五日奉天發十六日京城に著し十七日は褒賞授與式に列し十八、十九の兩日觀光二十日出發の豫定なり、又吉林よりの來鮮者は入京不明なるも從僕を合し十名なり
▲吉林 鎭安左將軍行署參謀長陸軍少將張[illegible]、吉林交涉員[illegible]、吉林延吉道尹陶彬、隨員書記官[illegible]

朝鮮產業の發達 實に顯著なる事實也

岡部次郎氏談

余は南滿洲に諸種の事業を經營せるにより從來屢々朝鮮鐵道線を通過せるも未だ曾て朝鮮に滯留したることなし從つて余の朝鮮觀が皮相の觀察に過ぎざるを虞ると雖も這回二三年振に瞥見したる沿線の風光は數年前に比し頗る面目一新の感無くんば非ず、先づ

▲車窓に去來する 靑き山野、開墾されたる荒地、著しく增加せる人家は素より各驛々には荷物の山積されたるも嬉しく殊に氣の故か長煙管もちて怠惰に耽りし鮮人が一般に面貌さへ引締りて自覺せるやうに見ゆるは頗る興味深き事と思はる共進會はまだ見物せざるも昨夜半入京せる際の町並は光輝煥發大京城の繁昌の程を想はしむるものありこれも亦頗る心嬉しき事に感じたり、併しながら本町通りの店舖を瞥見して心附きたるは一般に朝鮮の特產物を販賣せる店の乏しき是之なり這は新領土の朝鮮として實に無理ならぬ事なるも彼の高麗燒及び人蔘の如きは朝鮮產物の爲めに代表物たる如き感あれば今後

▲益々振興發達せしめ度きものなり、去りながら一般朝鮮の產業の發達は實に顯著なる事實にして彼の蔬菜類の如きも見事なるもの尠からず殊に汽車中にて購ひたる林檎の美味なる將來內地及び外國に輸出して有望ならんと思ひたり、次に市場に見る魚類の如きも當局者の注意と從業者の努力により一般に進步發達の緖にあるは頗る慶すべき事なり、餘は又沿道棉花の畑と生牛の多きを見て頗る會心の事に思ひたるが要するに朝鮮滿洲蒙古の如きは日本內地に工業用の原料を供給するにありて余の年來の主張し努力する處又此の精神に他ならざる次第にて

▲世間或は朝鮮の 工業不振を嘆ぐ者あるも元來殖民地は本國に對する原料の供給を主とするが原則なれば現時の朝鮮に大工業の勃興を望むが如きは時機尙早望む方が間違ひなり左れば成績よき陸地綿を植えて米國印度より輸入する綿花の補足を圖り內地經濟上に貢獻するは勿論鮮人の牧畜に長じたるを利用して今後益々畜牛の蕃殖を圖り延いては高價なる食料に腦める母國民の肉食を盛んならしむるが目下の急務なり彼の英國の如きは濠洲の精肉を冷藏庫にて輸入し以て國民の常食に供しつゝあるはわが內地鮮間に於て大に學ぶ可き事にして之を行ふには現時の如く面倒なる

▲檢疫等の障害を 除く方法を講ぜざる可らず即ち朝鮮に於て充分なる檢疫を經たる生牛を屠殺して精肉のまゝ移出するが良法ならんと思ふ次に朝鮮に於ける牧羊事業も將來有望ならんと思はるゝが毛織物の需要多き現時に於ては羊毛を領土內に得るの一事は最も緊要なる事に屬す猶ほ本邦人は羊肉を愛好せざるやうなれ共西歐にてはマットン、チヤツプは頗る賞味されつゝあれば將來朝鮮及び滿蒙に於ては是非共內地工業用の原料たる是等の物資を供給するに努力せざる可らざるなり

總督參觀見合

弘前に於て擧行さる可き陸軍大演習に對し畏き邊りにては寺內總督をも御召の御內意ありたるやに洩れ承るも寺內總督は目下共進會等にて事務多端の爲め本年は御辭退申上たるが、井口軍司令官及び白井總督附武官は參觀に決し軍司令官は十二日午前八時四十分龍山驛發汽車にて出發し、白井少將は同日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上す

寺內總督寄附

寺內總督は二日擧行されたる日本赤十字社朝鮮本部並に愛國婦人會總會に際し經費中に金五百圓を寄贈せり

農銀主腦會議

鮮內各地農工銀行支配人會議は金融組合理事會議に引き續き十日より十二日まで三日間每日午前九時より午後三時まで總督府第二會議室に於て擧行されつゝあり、十、十一の兩日は諮問事項の答申なりしが十二日は午前に寺內總督の訓示及び指示あり午後は打合にて閉會の筈なり

醫學會懇話會

朝鮮醫學會第五回總會二日の講演は前日に引き續き午前八時三十分より總督府醫院醫學講習所樓上に開催豫定の如く(昨紙附錄參照)來賓並に會員等四十餘名の講演ありて午後六時閉會し其れより一同朝鮮ホテルに於ける懇話會に赴けるが同所には山縣政務總監、井口軍司令官、河村師團長、檜垣道長官、立花警務總長、小宮李王職次官、兒玉總務局長、古海軍參謀長、秋山參事官、入島軍醫部長並に北里、高橋、藤波各醫學博士等數十名の來賓あり開會に先だち天勝一座の餘興を見聽て食堂を開く、宴酣の頃芳賀會長の挨拶、山縣政務總監、高橋博士の謝辭あり醫學會々員等互ひに祝福を交換し撤宴後休憩室に於て更に旭扇の筑前琵琶を聞き一同歡を盡して午後九時半散會したり

松方氏入京

第十五銀行頭取松方巖氏は京城に於ける銀行大會に參列の爲め十一日午後九時南大門驛著にて入京朝鮮ホテルに入れり同氏は約四日間滯在の上滿洲に向ひ旅程に上るべしと

朝鮮煙草貿易 輸出二十三萬餘圓 輸入八萬六千餘圓

▲輸移入高 八月中に於ける製造煙草の輸移入額を聞くに輸移入高は口付卷煙草四千本價格二十二圓、兩切卷煙草八十八萬八千本、八千八百九十四圓、葉卷煙草四千本、二百六十二圓、刻煙草三十五貫、五百二十五圓、合計九千七百圓餘にして一月以降の累計は卷煙草一千二百二十一萬五千本、刻煙草六百六十四貫、價格總計八萬六千八百二十四圓餘を算せり

▲輸移入高 又輸移出高は口付卷煙草三百六萬本、價格一萬百十七圓、兩切卷煙草七百五十萬一千本、一萬三十九圓、葉卷煙草一千本、二百圓合計二萬三百五十六圓にして一月以降の累計は口切一千二百二十七萬本、兩切一億四千五百二十七萬八千本、葉卷一千本、刻三百三十九貫價格總計二十三萬四百五十五圓餘也

▲輸出地別 尙ほ同月中及び一月以降の累計に對する輸出先地別價格並に輸出者別價格を示せば如左

輸出先地別價格內譯

地名	八月中 圓	一月以降累計
大連	九、八三四	一三六、五二一
靑島	五、三一四	三、八八九
旅順	九八〇	三九〇
奉天	一五〇	五六四
牛莊	……	二、七二〇
間島	二、三六〇	二、七二〇
天津	……	三八五
香港上海	……	四八六
南洋	……	七、七五〇
新嘉坡	……	五、六〇〇
露國	……	四、一〇〇
其他	三六八	三、二二四
安東縣	一、三五〇	一、三五〇
合計	二〇、三五六	二三四、四五六

輸出者別價格內譯

輸出者	八月中	一月以降累計
東亞煙草	一〇、〇〇〇	一四八、四三七
廣江商會	七、九七七	五三、一七八
朝鮮會社	六二五	一五、〇五〇
大邱製品	九〇	二、一九六
釜山製品	一、四三六	五、五二六
英米トラスト	……	五、八三六
其他	二二八	二二八
計	二〇、三五六	二三〇、四五六

仁川と商議聯合會

仁川商業會議所會頭奧田氏同副會頭稻田氏及び和田書記長は十三日より京城に於て開會さる商業會議所聯合會に出席する事となりたり因みに十三十四の兩日は朝鮮內の會議所會にて十五十六日の兩日は朝鮮內地滿洲の聯合懇親會なりと

荒井長官東上延期

大正五年度朝鮮總督府豫算に對し中央政府と交涉の爲め十二日朝東上の筈なりし荒井長官は都合に依り出發を見合はす事となれり、東上期は未定なるも多分三四日後なる可し

森武官歸任

閑院宮殿下に扈從しまつりて神戸港まで奉送したる總督附武官森海軍少將は十日夜歸任したり

銀行券發行高週報

朝鮮銀行に於ける十月三日より九日に至る銀行券發行高は二千四百七十一萬七百四十四圓にして內正貨準備發行平均高八百八十一萬九百六十八圓保證準備發行平均高一千五百八十九萬九千百七十七圓也と

武田通譯官母堂逝く

武田通譯官母堂は病氣の處九日卒去せり、葬儀は十二日東京に於て營まる

人事消息

▲織田了氏(愛知縣代議士) 十一日朝入京公平洞四九赤尾法學士宅へ
▲關口高次氏(川崎銀行理事) 十一日夜入京旦城館へ
▲古市博士 入京中の所十二日朝出發內地へ
▲松方巖氏(十五銀行頭取) 十一日夜入京朝鮮ホテルへ

三十一陳列 道競べ

□地圖と物產標本を糸で繫ぐ(前承) 奇拔で新しい咸鏡南道の陳列

■農夫の肥桶の中 三分の二普及とか牛の腹に頭とか大豆の粒の撰作業の絲の中に四分の三普及とか數字を記して無趣味の表を最も面白く讀ませる樣に工夫してゐる、大正の種子を買入れて改良を圖つてゐる燕麥と稱して札幌とフラデスデース其分布圖の次には種子交換の光景を寫眞にし、燕麥の利用として常食用のもの、馬糧用のもの、酒に釀造したもの、標本を置き、蠶業は桑園に增加、苗木の配布、稚蠶共同飼育蠶種改良、その成績表等を寫眞や物や表で紹介して居る、生糸は

■五年間を五色に 染め分け糸卷にして明治四十四年の二萬圓から大正三年の七萬七千圓までの發達を見せ、商工業の永興紬は改良と傳習とその成績を寫眞と實物で現してゐる、即ち機臺は實物模型で新舊の兩機を、紬は改良されたものと改良以前のものとを並置して、四十三年の三千圓の產額から大正三年の一萬八千圓までの進步を示してゐる、大廊はその長さで五年前の十一萬圓から二十萬九千圓に達するまでの經過を現し糸や布をも實物が出陳してある

■端川の玉石細工 咸興の陶器、硝子について貿易は實物模型の船の高さで五年間の輸移出入を見せて居る、大正三年の輸移出百十四萬圓、輸移入四百二十萬圓、水產は明太の本物を數十本天井に凍乾物の實況をそのまゝに垂れ、馬登島附近の漁業實況を背景として燈臺の振子に產額を記して眼を新しく數字に注がせる樣にし、又網の各種、副產物の明太の

■眼、腸、卵、肝油 の實物を出陳されてゐる、その他の魚獲物としてはサワラ、タイ、ハモ、サバ、シ、ラン、ホツボ、コノシロ、ハギ、ウ、マガツヲ、イワ等あり、小型網漁船の實物模型もある、畜產は屛風の中に寫眞と統計とを按配して五年前の二萬一千三百頭から三萬百頭に增加し一頭の平均目方が五十貫から八十貫に發達した狀態を明示してある、林業も亦圖表に各々變化を興へて校林、面模範林、地方模範林、下附樹苗數、記念植樹、苗圃、山林面積等を表示し最後に金融組合、敎育の狀況を廻轉式の表にして見せてゐる、中央には之れ等全體を歸納した三段の廻轉圓板があつて第一は六產物の五箇年間稚移、第二はその譯を府郡に分けて、第三は農、林、水、工、畜產のそれ等の計數を鏡に記してある。

大阪期米 未着
大阪株式 未着
大阪三品 未着

朝鮮物產特電(大阪) [illegible]

仁川米豆取引所
▲期米觀と强弱 每報の如く本月初會は米大阪電報は大勢節を報じたるも當市[illegible]
十一日の十二月限
[illegible]

少女の友秋の增刊
愈出來
お國自慢
○定價拾錢 郵稅壹錢
東京京橋南紺屋町 實業之日本社
お國自慢(三十八篇) 全國愛讀者諸嬢
鏡は女の魂(十一節) 本誌記者
月の夜がたり……長田幹彥
和蘭へ行つたお里の手紙……宇野浩二
全國及東京の女學校街……阪井昇
東京十二時……川端龍子
旅の印象……澁澤靑花
編輯しながら……星野水裏

□大典記念植樹□

果樹 山林 苗木及び草花
原產地と特約し優良品廉價提供
定價表御申越次第進呈
京日仁川代理部 電話二四〇番 仁川濱町

大擴張
共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候
京城南大門驛前
武藏旅館
電話二三六四番

浪界の泰斗 請元
吉田奈良丸來る
於仁川歌舞伎座
十一日十二日の二日間晴雨に係らず口演日延なし
─二日目の讀物─
殿中及傷
大高源吾 長講二席

自轉車はミノヤに限る
販賣品は極度の安價にして
修繕は至極親切叮寧に致します
京城南大門通 新井藥舖前
電話二三七三番

▲十一日後場 寄付 二、九九 …… 二二、二〇 二二、五二
高値 …… 二二、四〇〇 二二、七〇
安値 …… 二二、二〇〇 二二、五二
引け …… 二二、二三 二二、五四

▲十一日出來値段 五分利前 九六、九〇 五分利號 …… 甲五分 一圓四分 八〇、四〇 二圓四分 七九、四〇 …… 九五、九〇

▲後場の商戰 前項の如き事情に四錢と壓れ三錢ご焦げ付の置散會て市場は頗ぶる閑散な極め 𝌆 ④買⑦利買に過ぎず

は正米の壓迫を受け居るが其內には何とか片付なるべく本年の作況より見て前途必ず高値を顯出するならん已に底入したる今日に於てをやと主張し居れるより考ふれば弱氣は目先を賣り强氣は前途を買ひ居れる者の如し
▲十一日後場 先限㊀八圓六十三錢㊁八圓六十

出來高 二千百五十石
十月限 千九百石
十一月限 二萬四百五十石
十二月限 一萬四千五十石

大共進會

東洋一の博物館 朝鮮に設けよ

水產學の泰斗＝岸上理學博士の談

私は朝鮮に初めて來た併し朝鮮の事は勿論來る前から種々の調査物などで知つてゐた處が見ない前の朝鮮と實際に見た朝鮮とには大差があつた

■私の專門 は水產だから勿論水產に就ての調査物が一番よくわかつてゐた譯だが公私の調査報告に依つて見た朝鮮の水產は母國の水產と殆んど同じで更に異つてゐなかつた其れが朝鮮に來て見て初めて朝鮮の水產が調査報告の儘でない事を明にし得た是れは單に水產のみに關した事ではないと思ふ然して其責は一に調査がさうだと思ふ萬般に亘つた朝鮮の査研究の不足と云ふ事に歸する論ずる迄もなく私は始政五年を記念の共進會が開かれてゐる朝鮮に對し萬般の調査研究の

■完全を期 してはゐない寧ろ未墾地、處理地として將來に望を囑してゐるものである更に私の專門に立歸へつて言へば朝鮮の水產は母國人の朝鮮に手を著けた最初のものであつた丈け夫れ丈け他の農業商工業鑛業等に比して開拓されてゐると見なければならない現今朝鮮の水產は殆んど朝鮮の各方面に亘つて手を擴げられてゐる然も朝鮮は大陸に接して居る位置上の關係から南北の魚族が蒐つて來る

■暖流に乘 つた魚族と寒流に乘つた魚族とが相交錯してゐる非常に豐富な海の幸を有つてゐる譯であるが併しどうも充分に其れが調査されてゐないで唯漁れる處で漁れる魚族を漁つて居たと云ふ樣な漁獲方法であつた隨つて闡明された處は非常に明瞭に鮮明になつてゐるけれど不明の處は飽迄も不明の儘に抛棄されてゐたと云ふ傾があつた例へば南海岸の如きは寧ろ荒廢に近い程迄に緻密に

■漁獲され てたにも拘はらず西北海岸は餘り善良な漁場とはなつてゐなかつた昨今總督府では頻に海流や魚道やの調査をやつてゐられる樣だが非常に好もしい事である今迄は其れが爲されてゐなかつたから漁場が飛び／＼になつて一定した組織立つた漁獲物がなかつたのだ例へば鰮の如きは寒流に乘つて北東海岸から南下して來る其れが西北海岸にもゐるのだけれど其間の連絡が蘿張りとれてゐない

■日本海に 面した東海には日本でなら度乾鮑の漁れる樣な附近の狀態である怎しても夏から秋にかけて其附近で鮪が漁れなければならぬと思ふのだが其が漁れてゐない——言へば此樣な例はいくらでもあるそれ丈け朝鮮の將來に光がある譯であると思ふ私は切に思ふ朝鮮の明日は万般に亘つて秩序を立て、調査を爲し其れを基礎として組織立つた計畫を立てる時機だと、乃ち其最も代表的なものとして朝鮮に一

■大博物館 を建設して貰ひ度いものだと思ふ總て物事は最初が大事で爲すべき事は最初に爲さねばならないこと言ふ迄もないが朝鮮が第一期の階段を經て將に第二階段に登らうとしてゐる今日に於て單に朝鮮のみと局限せず東洋の中軸たる位置を利用して東洋一の大博物館を設け深奧な學理も一日して判る樣な設備を置いて貰ひ度いと思ふ結局は經濟問題だが昨今問題になつてゐる朝鮮の會計獨立抔にならない以前に

■其基礎を 設けられる樣な事になればと思ふ伯林のドイッチエ、ミユーゼアム氏の如き世界的の設備であるが是等は單に一國の文明を語るのみならず國民を指導啓發して行く上に於て偉大な力があると言はねばならない私は朝鮮に東洋を代表し東洋を指導する一大博物館の建設を希望してやまぬ

大探照燈

海軍省より送附

從來漢陽公園より夜間市中を照し居たる探海燈は光度思はしからざりしが今回海軍省の好意にて送り來れる四万五千燈の大探海燈は据付工事竣りて十日夜より市中を照し頗る偉觀を呈し居れり

婦人小供デー

十六日の共進會

十七日、褒狀授與式の日擧行される豫定であつた『婦人小供デー』は一日繰り上げて十六日（土曜日）となつたお婆さんも、奧樣も、令孃も、坊ちやんも、孃ちやんも、お樂しみの此日の催しを逐一記して見ませう、先づ此日共進會に入場した婦人と子供さんには

▲殘らずお土產 が出る、即ち御婦人方にはクラブ化粧品入りのトランク一個宛、お子供さんにはクラブ瓶飴と繪はがき、そして雙會樓の階下は此日全部婦人子供の爲めに開放して御婦人とお子供さん達の專用休憩所に當てる、茶も出る、菓子も出る、石柱蟲々として立つ中央に控へた音樂隊は皆さんの爲めに絕えず

▲嚠喨たる樂を 奏し天上に遊ぶの思ひあらしめる、又娛樂場のブランコは此日子供さん方の專用として公開するつまり料金無用で自由勝手に御乘りを願ふといふのだ、又演藝館は晝間二回の中、一回を御婦人、お子供さんの爲めに公開して、こども無料で、天勝一行の少女、子供達で面白いお伽芝居こ、少女ダンスを御覽に供し、最後に天勝等の滑稽奇術を御眼にかける、その上に各興行物は婦人子供に限り

▲大割引をする その他まだ／＼の催し物、出し物の計畫中である御婦人、お子供さんを喜ばす樣な色と云へば當日は一家中婦人子供の方は一人殘らず共進會に御出掛けを願ひたいとのことである

天勝評して曰く

須磨子さんは動きません 貞奴さんは痩せて居ます

サロメで返り咲の奇術の天勝、名古屋、福井、金澤、大阪と續け打つて神戸興行が協贊會との引張凧になり、金錢づくなら神戸ですが一番此のお目出度い共進會へ出ませうと話しで、そこで十日の初日涉き返る大入、知るも知らぬも世の中の偶像進、サロメ／＼と囃し立てる天勝の意氣や盛なりと謂つべきだ、その天勝初日の景氣に治まり返つて山本旅館の一室、巧みな表情に妖艷な眼を瞬ばりながら語り出すサロメの話し

■平素から 何か舞臺に登せてみたい／＼とは思つて文士方にも脚本を書いて戴くように願つて置いたんですけど怎うしても二幕三幕になるものから思ふ樣にゆきません私の柄で日本物でもあるまいと思ひましてね思闘ついてるうちに帝劇で須磨子さんのサロメを觀に行つて、幕が開くと同時にあゝ、之れなら——と、ふと思つたもんですから僕に演つて見たくなつて熱心に觀たのが私がサロメを演る動機になつたんですの——と美しい眼を輝す——早速小山內（薰）さんに相談すると洋裝の型のいゝ君ならよからうつていふお話、それでは須磨子さんの型通りでは變ですから

■型を替へ てと申しましたところイヤ型は替へない方がいゝだらうつてんで臺詞や動作は無名會の東儀さん（鐵笛）に敎へて戴き又洋行中に親しくサロメを御覽になつた小山內さんからいゝ型をつけて戴きダンスなどもサロメの本の寫眞からいゝのを取つてかゝつたんです、臺詞などはなるべく省ける丈省いたので極く簡削りなのです、芝居は一體好きで洋行して居ります時分からよく觀て仕科の眞似などしてゐましたが何しろ全くの素人なんですからどうかと思つて心配してゐました、ところがサロメといふ劇は臺詞でもなければ動作でもなく半裸體になつた肉の曲線美であつて餘程舞踊的に出來て居るのでいろ／＼の批評もありましたけれど私の型は持つて生れた體格と小頭の時分から奇術師として取扱つて來た身體とが手傳つて好評を戴いたんです、須磨子さんはヨカナアンの首を抱きて半紙四枚程ある

■長臺詞を 少しも動かずに言つたんですが私はいろ／＼身體を動かしながら言つたのです、その時須磨子さんの抱月さんも須磨子さんこ揃つて觀にいらつしつてましたがその後拜見すると須磨子さんも前の型を更めて身體を動かしてゐましたが私の型を眞似たんだなと思つて愉快でした、貞奴さんは背も私と一寸程低いし近頃大へん痩せていらつしやるので裸體にはなりませんでしたが胴が長くつて足の短かい

■日本の女 では私共はじめどうもよくゆきませんから困りものですそれから臺詞ですが之が又難物で例へば『首が所望で御座います』といふところなどうしても平素言ひ馴れた奇術の方——『種仕掛は御座いません』といつた樣な上辷べりのしたアクセントが出るので之れを直すのに隨分骨が折れました、又奈落の方では肝腎なところへ來ると眼が蛇皮子先がつて見物の方に行つて終ふ事があるので折角の仕ごころが機になつて了ふんです、恁んな事も中々辭が取れなくつて困るんです、奈落は王が銚子を持つてといふ時、奈落ならば從者が運ぶのですが此處は

■銚子が自然に現はれて くるのです、奇術應用で又舞臺が井戶に取りにゆく所も音がひさりに動いて臺詞をいふんです、その外二三箇所奇術が這入つてゐます、初めの考へではもつと奇術を多く使ふ筈でしたがさて舞臺に立つて見ると持役の方に一生懸命になるもんですからどうしても奇術の方には思ふ樣に心が使はれません、餘裕がないんです、私の座には本物の俳優は一人も居らず皆素人ばかりの所に御同情を戴いたわけなのです、それから私共は朝鮮に來てから大變いゝと思つて喜んでますと脚に乘つて町廻りなしたせいか

■初日の晩 舞臺に出ますと無暗に痺が來てあゝ困つたと思つてると遂々サロメのダンスの所で思はず片腕について大失策を行りましたの、それからハツと思つて立上つたものゝ足がフラ／＼したりブル／＼慄へたりして感覺もなにもないんです、實に困りました、天勝のサロメつてあんな恰好なんだらうかと思はれては敵ひませんから共處は宜敷——と膝を擦つたが『それでも病氣は惡くなりますが演れる丈演ります』と眉を動かす。

久留島先生のお伽講演

十一日は雨天の爲め中止 十二日の午後三時半開會

飛行成功

十一日は天高く澄み渡りて一片の雲影を見ず大田原に滯在中の四飛行機は午前六時相前後して仙臺に向け出發同八時半無事仙臺飛行練兵場に著陸せり搭乘の四將校は同市にて豫て設けの歡迎所に導かれ熱誠なる市民の歡迎を受け居る內任盛岡なる岡大尉より天候良好飛行差支へなしとの報に接し踴躍措く能はず午前十時五分武田中尉先機上の人となり北に向つて秋空を驅り川上長澤伊庭の三將校も順次其後を追ひ午後零時四十分過四機共に無事盛岡に著陸せり（東京特電）

● 行餘會の栗拾ひ 總督府給仕全員を以て組織せる行餘會員七十餘名は十日京仁線梧柳洞山下伍造氏所有の栗林にて正午迄栗を拾ひ午後は仁川水族館を見物し十分の行樂を爲し午後九時歸著せり

● 花園婦人會 十二日午後一時より花園婦人會を臨濟宗妙心寺別院にて開催し松本指道和尙の法話並に後藤瑞巖老師の遺敎經の講義ある筈因に遺敎經は婦人會每に繼續講義せらる由なれば求道の婦人は此際入會すれば好都合なるべし

いつも嬌めかし三味の音の漏れる富美廼家の二階は仇つぽい沈魚落雁のお揃ひとあつて平素から男禁制三毛猫さへも注意人物として警戒される△然るに或る冒險家の粹人があつてやつとの事に此の二階の神秘を探つて來た報告によると△先づ簞笥の隅からペングイン鳥が這ひ出たは戲言だが階段昇口には嚴しい『無用の者昇る可らず』の制札があつて其の下には又『但し色男は此の限に非ず』の戲書があるのも面白い△次に又衣香褶影壁のあたりを見廻すと第一條から十條に亘る富美廼家憲法の箇條書全部金釘流の名筆とあつて讀み惡いこと夥しい先づ第一條の『あさはかならずはやくおきること』といふのを『淺果ならラスはヤクを斬ること』と讀むで吃驚し其の意味深長なところが解り兼ねたといふのも面白いが△第十條に至りては更に不可解『午後十二時までにおへんじのありたる時は、びようきのほかことわるものは、一くわいに金一圓のばつきん』△これでは如何に辨慶がなぎなたでも粹士の外解りやうが無いと大評判であつた相な

家庭博覽會

家庭博に 圓坊と歌六が現はれて

得意の落語と音曲を演る ▲十二日の午後六時半より▼

家庭博の盛況を祝する爲めに目下明治町の浪花舘で開演して大人氣を博して居る東京落語桂小南一座の利者で京城ではお馴染みの深い落語の圓坊と音曲の歌六とは十二日の午後六時半家庭博に乘込んで來て例のカチ／＼山の上に出來て居る、舞臺に上つて、圓坊はお臍の宿換へをさす樣な落語と特得の座敷踊を演てお目に掛け、歌六は例の音曲に自慢の咽喉を唸らせると云ふ趣向、併し雨が降れば圓坊も歌六も御免を蒙つて翌晩お邪魔すると云ふて來て居る

● 裏から覗いた景氣の一つ

四百人で月四萬圓

共進會開催の餘波を受けて京城市中の商況は頗る活氣を添へてゐる世が不景氣であるとか金融逼迫とかの聲は裏面へ渡る譯で是等の景氣を窺ふのは裏面から覗いて觀た其土地の遊廓の揚高で

▲幾分の鑑定 はつけられる共進會の爲めに緊張した商會としては吳にいろ／＼書いて見たが京城新町の遊廓も商況の方では頗る振つたものである之を數字の上から調べて見ると八月中新町遊廓四十二軒の揚高は二萬五千六百六十餘圓に對し共進會が九月十一日に開催されたのは以後の狀況は素晴らしい增額で九月中の揚高は約一萬三千圓を增加して三萬八千七百餘圓となつてゐる而して遊興人員は八月中七千五百二人であつたものが九月には八千五百八十八人に增加を示してゐるに於ても九月に這入つて幾分の增加となり九月末日現在では內地人娼妓數が三百九十三人鮮人娼妓が五十人合計四百四十三人である此人數で一箇月に三萬八千餘圓の働き

▲商賣上强ち 馳ない方ではない其れで八月に比較して九月の成績が急に上つてゐるのは是れ取りも直さず共進會の餘惠であつて毎年秋風の立つて蜘蛛の巢が軒端を閉す九月の頃に今年は破格の大盛況を呈めてゐるので皆々ホク／＼者になつて喜んでゐる九月中平均一夜の遊興人員は二百八十六人で一日の平均收入が一千二百九十圓之を八月に對照すると八月は二百四十二人平均の客數で其の遊興費が平均八百六十圓餘であるから金額に於ても一夜に約四百圓近くの增加となつてゐる惡うした客筋も例月と異つて

▲共進會見物 の爲め地方から出て來た人が多い內地からの名のある人なども其の中に加はつてゐるさいふ有樣更に十月に這入つても相變らずの盛況で十月一日から八日迄の遊興額が一萬三千八百八十五圓八十八錢其遊客數が三千八百二十五人となつて居る此結果から推すと共進會の爲めの京城は商業上悲觀すべき狀態ではない十月一日の如きは四十餘圓で千圓以上の收入である斯かる盛況のことは近年其例が無いと樓主連が言つてゐる

京日案內

◎普通 一回前金三十錢（無割引） 一行每に金五錢增

○女店員數名募集す十二歲より廿歲迄保證人要給料面談（壽舘前）京城本町二電二七五二番△乃木餅屋 728

●店員入用 齡十七八歲以上廿歲迄の者二名採用す至急來談あれ 南大門通一丁目（黃金町角）西村商會 725

●奧樣令孃に急告 ちゞれ毛のなほること奇妙はやくおためしあれ 京城明治町三ノ二九番 山崎まさ 726

滋養大 乃木餅 中飯 開玄糖 茶菓子 煙草 御用 本町壽舘前電二七五二番◎乃木餅屋 693

●周旋業 ●藝娼妓 ●酌婦 女中 ●仲居 取扱確實親切迅速 萬成舍 京城黃金町三丁目 電話二七三五番 658

●店員入用 年齡十七八歲より廿歲迄採用至急來談ありたし 龍山鐵道構內電車終點 龜屋商店 698

◎番外 一回前金六十錢（無割引） 每行一回每に金五錢增

◎至急廣告係採用 希望者履歷書携帶午後六時來談あれ 西大門內貞洞二七番 727

◎旅館開業御披露 閑靜にて眺望佳絕 京城南大門脇漢陽公園通り 漢陽旅館 電話二二二九 營業主大原松次郎 626

衛生彙報社

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七番 山口屋 710

◎前途有望なる製造業 主人歸國至急讓渡し要資三百六拾圓 利益月百廿圓以上 南大門驛（西北）一丁目（今本醫院隣）福富理髮所方 690

好職業 新案美術商會優美ゴム製品見本送る共進會期中無休月收廿圓以上志望者郵券十錢送れ營業案內進呈 京城大漢門前太陽ゴム商會 681

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 566

恩給年金類立替 京城本町三丁目四十番地 電二二六一番 博多屋本店 711

◎產婆 矢能イマ 京城明治町二丁目交番橫入 產婦の取扱叮嚀を旨とし迅速御招に應ず 電話取次九六九 696

京城明治町二丁目 宇治屋茶舖橫小路入 三浦宙堂 717

●生產販賣並に各國優良蠶種照會 ▲滋賀縣長濱大手通電話三百番 ▲振替大阪二九二七 蠶種 詳細御報次第應答 中國商會 704

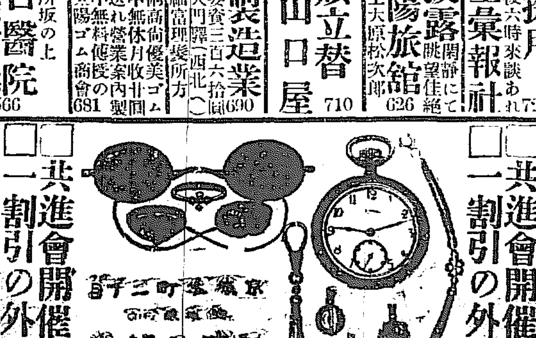
胃病新藥 マーゲン 胃病快治法無料進呈 特約店 京城南大門通二新井藥房 大阪上本町五 田畑保榮堂

◎印鑑無効廣告 一水晶材圓形 直徑四分（力武）の二字彫刻 右の印鑑去る十月五日遺失候間此段廣告候也 大正四年十月五日 朝鮮仁川內里 力武嘉次郎

●大募集 本會發明品は官衙の推獎にて一般へ普及せらる依て各地に代理店を募り活動上自轉車洋服を給與す事業は何人にも適す郵券四錢添へ申込るべし 東京市京橋區南紺屋町 習字獎勵會

進呈券 肋膜炎 氣管支 病等 呼吸の器諸病は勿論重肺結核の大妙藥 天光と無代進呈す此券切拔切手四錢添へ七日以內に申込あれ 長崎小ケ倉 本願寺說敎所

廣島名產 山まゆ織 冬物品揃半纏 大夢柄見本進呈す 廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪二〇六六九


京城本町二丁目 三浦天龍堂

□□共進會開催中 一割引の外 割引券進呈す

宇治茶 月桂園 京城旭町一丁目 電九九八番

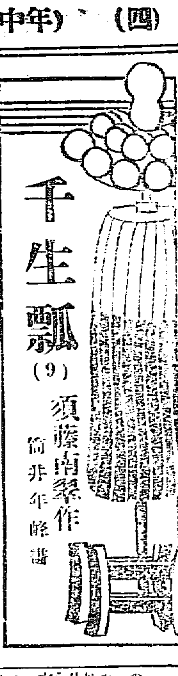
寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に且叮嚀親切を旨とし御高覽に可供候 京城日報社 寫眞製版部

□□共進會開催中 一割引の外 割引券進呈す

大學目藥 進步せる國民には進步せる藥劑を要す 是が理想的なるは大學目藥也

千生瓢（9）

須藤南翠作　筒井年峰畫



颶風の前（九）

塵き野面を眞一文字、に砂煙を揚げて驅け來る騎馬武者がある。一益は床几に倚つてそれを待つた。

『先陣よりの注進おざりまする』

近習の執次を鞭止しげに、

『待ちかねた、目通りへ』

聲の下より幕を褰げて進み入る若武者、一益はきつと見て、

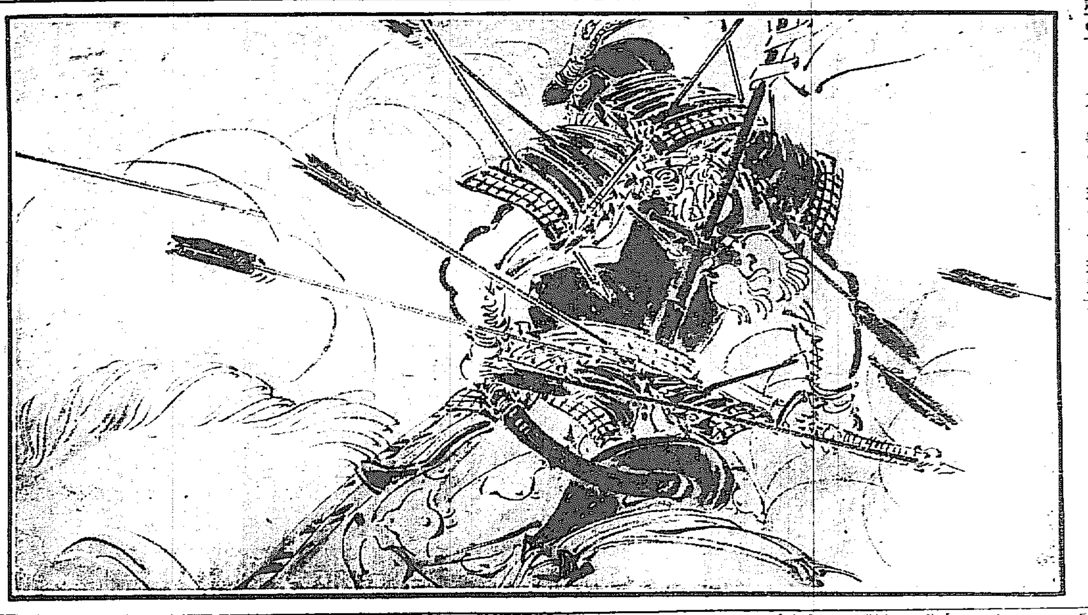
『戰ひの次第、何とあるか』

『はツ、無念ながら鉦られまいておざりまする』

『何ぢや？』

一益は床几ながら乘出した。

『左ん候ふ、谷崎、山路、岡部の三將に、丘に登つて敵の陣を見渡したるに、五色の吹貫、千生の馬標、必定筑前ごさんなれと、三方より引き包み、備へを進めらるゝ處に、二の手三の手、孰れを見ても同じ指物、何れを敵の筑前とも定め難く、馬を控へらるゝ處に、敵の陣より、今日の一番鎗、先陣の大將中川瀬兵衛清秀が舍弟、同苗瀬之助なり、後にて爭ふこと勿れと、呼はり／＼、十文字鎗を捻つて突いて入る。這、小賢し、山路九郎太夫是にありと、馬を入れて遮らるゝ處に、瀬之助二振三振鎗を扱くと見えたるに、忽ち山路殿を突き落しておざりまする』



『やあ、九郎太夫討れたとな』

『瀬之助馳せ寄つて、首を掻かうと致す處に、味方の兵士馳け隔て、瀬之助を中に取卷き、我討ち留めんと勇を奮つて戰ひまいたが、瀬兵衛清秀走りかゝり、縱横無盡に突き伏せ／＼、到頭瀬之助を救ひ取つておざりまする』

『山路が戰死は殘念ながら、悔んだとて詮ない事ぢや、追付け此れより陣を前めて、彼が弔ひ戰をしてくれるわ。注進大儀』

『はツ』といつて御前を下ると、直に轡を揚げて、單騎戰場に引返す。

引き續いて早馬は往來した。合戰の光景は、刻々に明かになつた。敵の二陣は堀尾與一郎であゐ、三陣は生駒甚解由、蜂屋出羽守、平野權平長之に續き、秀吉の本陣は、七段備への軍容いかめしく、遙の後に控へて居る事も明らかになつた。其とも知らぬ谷崎忠右衛門は、二陣に續く五色の吹貫、瓢の馬標こそ、紛れもない秀吉と心得て、一千餘人を兵間に備へ、中川が千五百餘を突き崩して脇目も振らず、本陣を切り崩さうと陰に開いては陽に閉ぢ、追ひ廻り、追ひ廻り、秘術を盡して戰ふ事まで手に取るやうに聞えて來た。

『瀬兵衛は聞えた豪の者ぢや、荒木の家に居た時にも、彼奴が爲に味方は夥だしう惱された、谷崎も戰上手一騎驍にも名を得た者ぢやが、瀬兵衛と槍を合せては定めて大汗になるであらう、いで本陣を進めて、踏み散らしてくれうぞ』

一益はやをら前進の命を傳へた、今まで人ありとしも見えなかつた、森の際、丘の麓に、旗指物一齊に建ち列つて、野も山も皆味方の勢かと疑はれた。

一益は能く敵を知つて居た、忠右衛門が苦心した、謙信一流龍の丸の備へも、清秀に看破られて、其死門から突き立てられたので漸々に崩れ行いて、遂には敵味方入り交つての混戰となつた敵には中川小右衛門、同苗圭兵衛などといふ世に聞えた豪傑があつて、清秀を助けては奮戰するので忠右衛門いかに猛くとも、備を直す暇もない、岡部常藏入り交つて支へたが、勝に乘じた中川に突き崩されて、思はず一二町引き退いた此間に忠右衛門は備を立て、、中川勢の眞只中へ喚き叫んで突つかゝつた、其と見た瀬兵衛清秀、谷崎を中に取圍め揉みに揉んで戰ふので、忠右衛門唯一騎見る／＼七八騎突き伏せて當るを幸ひ戰ふたが、鎧に立つ矢は蝟毛の如く、今は續く味方もない、既に斯よと見えた時、谷崎の乘たる駿足、跳り上り／＼敵を蹂躙り、旋風の荒ぶが如くに引かけて駛つたので、敵も之を遂ふこと叶はず不思議の命を助かつたのであつた。かくと見た左近將監一益、自ら馬を陣頭に進めて、渦卷來る中川勢を磐石を以て堰き留めるやうに、堅固に遮り留めたのである。

『退され、下郎！』

皮徽科　入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　徽毒病　麻病　膀胱病　生殖器　機能障碍
京城明治町二丁目（元町通）
佐藤醫院（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

リウマチス、神經痛と せんきに惱む人は
疲れ易く彼是と迷はず先づ試みよ
神經痛が催の疵痛に烈しき湯で夢の如く消去り
又は頑なる難治のリウマチスや數年痼疾の疝氣で惱みし方々が
遂には スツカリ快癒し嬉さの餘り感謝の
神疝湯
せんき リウマチス 神經痛 子宮の道 ヒステリー 胃腸病
● こんな徴候 腕、腰、膝、手、足、肩つり、痺れ、又は張り痛み彼處此處と移動し ● 何となく窮つ ● 腹の張り差し込み ● 食の進まず ● 便秘 ● 氣の上逆 ● 頭痛 ● 肩凝り ● 腰足の冷へ ● 目暈 ● 頭重 ● 夜眠られず ● 記憶あしく ● 物事に感じ易く ● 手足の浮腫等
諸患者は是非本劑を試みよ
價 …
本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

醫學博士 室谷修太郎先生述（萬戸必携の家庭參考書）
家庭衛生及び救急法
最新刊 一名「醫者のくるまで」 定價 金五錢 郵税二錢
内容 一、個人衛生 二、傳染病豫防 三、凍傷 四、火傷 五、熱病 六、狂犬病 七、中毒 八、假死（人工呼吸法）種々の假死に於ける手當（溺死、縊死、凍死、埋沒、雷撃、炭酸瓦斯、燈用瓦斯中毒、泥沼氣）初生兒 九、人事不省 十、卒倒 十一、痙攣 十二、異物嚥下 十三、外傷、刺傷、骨折、脱臼及捻挫 十四、家庭必備の醫療具及藥品
家庭博覽會内の賣店及市内各書肆で實費を以て御頒ち致しますが部數に限りありますから至急御買求を願ひます
發行所 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番 京城日報社代理部

淋病内服藥 ゴンチール
今ヤ内外諸大家ノ實驗ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ醫界ノ泰斗エールリツヒ、グツトマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ烈強ナル殺菌力ヲ有スル「テトラメチールチオニンクロールヒドヲート」ヲ基礎トシ極メテ合理的ニ集成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱及尿道炎ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル一新劑ナリ謹ンデ各位ノ御試用ヲ希フ
▲説明書御申越次第郵呈ス ▲各地有名藥店ニアリ ▲品切ノ節ハ直接御注文ヲ乞フ

容量	定價
三十球入	六十五錢
六拾球入	壹圓貳拾五錢
百球入	壹圓八拾五錢
藥局用	五百球、千球入

大阪市道修町三丁目 發賣元 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二四九一、振替大阪七五九〇

いくらあつても 金鵄香水に 如く品はない

注射に依らざる安全簡易な自宅新療法
梅毒素人療法
説明書無代呈 東京本所向島小梅町一三四 東京藥化學研究所
前醫科大學醫院特命劑者赤井藥劑師研究 前海軍大藥劑士 動六等福森先生正七位調製 強スピロールは米醫界の新傾向に徴し研究調劑されし最新式自宅新治療法として歐米に於ける難症にも偉大の効を奏す

滋養大関 次亞燐の めは 後々肥つて 後々丈夫!!
病人に力を附ける藥 病後の疲勞を復す藥として醫界の稱用盛なり
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛
▲定價 五拾錢 九拾錢 壹圓半 ▲各藥店にあり

新刊書御案内

書名	著者	定價
朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
朝鮮より宮崎	鋤村	五五
學校體操の原理及教育法	向井虎吉	一、五〇
伊勢神宮と我國體	蘆池千九郎	二、〇〇
英雄と修養（縮刷）	加藤咄堂	九〇
古今辭世集	飯田一畝	一、七〇
印度文學講話	松村武雄	一、二〇
男女と貞操問題	岩野泡鳴	六五
野薔薇詩集	平井晩村	三五
野火歌集	熊谷武雄	七〇
セヴアストオポリ	昇曙夢譯	八〇
芳集	菊地幽芳	一、二〇
感	水野錬太郎	一、二〇
戰に使して	楚人冠	一、六〇
銀笛	小杉天外	一、三〇
歌に入る迄	金子薰園	七〇
熱い血と冷い頭	糸、長谷川	一、〇〇
批評の要訣（縮刷）	小山、上川、鳥見	七〇
解説力學（下卷）	重光	一、二〇
操鍊學（下卷）	山口義勝	二、三〇
日支交渉に依る帝國の利權	松本	一、五〇
南京去留誌	德富猪一郎	一、五〇

京城本町 電話一〇八六番 振替京城二五七二 大阪屋號書店

醇良清酒 吉金酒店 仁川本町四丁目 電話七六四番

仁川出帆 大阪商船
○外國航路（但し朝鮮航路を除く）… 割引を以て連絡切符發賣仕候
○南洋行
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
宮島丸 十月十九日 午後五時
漢城丸 十月廿二日
溫州丸 十月廿五日 午後出帆
○木浦、釜山、長崎行 ▲印は鎭南浦寄港
×安東丸 十月廿四日 午後二時
▲天智丸 十月廿八日 午後出帆
○鎭南浦、大連行
×安東丸 十月二十日 午後二時
×天智丸 十月廿三日 午後出帆
○鎭南浦、門司、神戸、大阪行
○鎭南浦 月 日 正午五時出帆
△○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十一月一日 午後四時
△チヨイサン丸 十一月廿一日 午後出帆
○大連直行
△千珠丸 十月廿七日 正午出帆
△チヨイサン丸 十月廿六日
（元山、清津、浦潮行（釜山出帆）▲印は城津、西湖津に寄港）
久宮丸 十月十九日 午後九時
宮城丸 十月廿九日 午後出帆
城津丸 十一月十四日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸 十月廿九日 午後四時
新高丸 十一月六日
御注意 ○朝鮮鐵道及朝鮮汽船との聯絡切符發賣仕候 ○乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候 ○×印は一等客斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

仁川出帆 日本郵船
○大連太沽牛莊行
萬砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

仁川出帆 朝鮮郵船
全羅丸 十月十五日
京畿丸 十月廿五日
成鏡丸 十月十九日 釜山發
昌平丸 十月 日 元山發
鏡城丸 十月十六日 元山發
竹清丸 十月廿四日 元山發
忠清丸 十月十四日 元山發
永興丸 每月廿八日 元山發
嘉島丸 十月十六日 釜山發
江陵丸 每日 釜山發
義陽丸 （浦項）發
三浦丸 十月十四日 釜山發
濟州丸 每日 釜山發
統營丸 巨濟丸 慶寶丸
順天丸 三日目每 木浦發
慶興丸 十月十一日 木浦發
公州丸 十月十三日 木浦發
京信丸 十月十三日 仁川發
江原丸 十月十六日 仁川發
平安丸 十月十九日 仁川發
晋州丸 十月十四日 仁川發
全南丸 每日午前 仁川發
平安丸 十月十六日 群山發 十月十三日 若松發

仁川出帆 尼崎汽船
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
吉丸 十月二十日 午後四時出帆
吉が代丸 十月廿七日 午後四時出帆
代丸 十月十六日 午後四時出帆
有丸 十月十八日 午後四時出帆
大第二太湖丸 十月十八日 午後五時出帆
○群山、大阪行
土海丸 月 日 午後四時出帆
仁川濱摩南町二丁目 電話九番 杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 十月廿六日 午後五時出帆
○元山城津浦塩行
小倉丸 十月十四日 午後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
立神丸 十月十九日 午後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 十月廿八日 午後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 十月廿二日 午後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十月十三日 午後六時出帆
○佐須奈、嚴原、博多行
大黒丸 每月三日九日十四日十八日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 夫池回漕部

仁川出帆 阿波共同汽船
芝罘、大連行
第一共同丸 十月 日 午後七時入港 日 午前九時出港
第二阪鶴丸（元山出帆） 城津、清津、浦鹽行 月 日 後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 山下回漕部
[illegible]

汽車時間 京釜 南行 北行 [illegible]